



株式会社 東京ドーム

TOKYO DOME
GROUP REPORT

2020

東京ドームグループレポート 2020



「感動」を共有し、 持続的に企業価値を創出する 100年企業へ

当社グループは、いつの時代にもほかに先駆けて
さまざまなレジャー施設とサービスを多くの人々に提供してきました。
今後もレジャー事業の拡大を見据え、お客様に心から楽しんでいただける
安全・安心な都市型レジャーを追い求め続けることを社会的な使命ととらえ、
レジャー・サービス業の100年企業として変わることのない「感動共有」と、
次世代の新たな価値を持続的に創出していきます。

Contents

TOKYO DOME
GROUP REPORT 2020

- | | | | |
|----|-------------------|----|---------------|
| 02 | 東京ドームグループの歴史 | 26 | ビジネスハイライト2020 |
| 04 | 東京ドームグループのビジネスモデル | 27 | 財務情報 |
| 06 | 東京ドームグループの事業展開 | 28 | 部門別概況 |
| 08 | 東京ドームグループの力 | 30 | トップインタビュー |
| | ・立地力 | 38 | 東京ドームグループのESG |
| | ・施設力 | 50 | 会社概要／株式情報 |
| | ・イベント力 | 51 | グループ会社紹介 |
| 24 | トータルソリューション | | |

経営理念

企業目的

私たちは
人とひととのふれあいを通して
お客様と「感動」を共有し
豊かな社会の実現に貢献します

経営方針

∞ 新しい価値を創造する活力と
豊かな対話を求め ∞

- 日々新たな気持ちで仕事に取り組み、前進しよう
- 明日のさらなる発展のために、今日の目標を達成しよう
- お客様の声に耳を傾け、誠意をもってお応えしよう

安全理念

東京ドームグループは、
お客様と「感動」を共有するために、
安全を第一に考え、行動します

安全基本方針

- 安全で楽しい施設とサービスの提供を追求し続けます
- 安全について私たち自身で基準を設定し遵守します
- 安全のための教育訓練に積極的に取り組みます

発行にあたり

「東京ドームグループレポート2020」では、東京ドームグループの事業内容や業績、持続的な企業価値創出に向けた取り組みなど、100年企業を目指す東京ドームグループの魅力を集約し掲載しています。株主・投資家の皆様をはじめ、未来のビジネスパートナーを含めたあらゆるステークホルダーの皆様が、本レポートを通じて、当社グループへのご理解を深めていただければ幸いです。

対象範囲

株式会社東京ドームおよび連結子会社

対象期間

2020年1月期(2019年2月1日～2020年1月31日)

※一部当該期間前後の内容を含みます。

発行年月

2020年8月

免責事項

当レポートに記載されている将来の計画や見込み数値などは、当社が現在入手可能な情報に基づく見通しであり、経済動向や事業環境、消費動向の影響を受けるリスクや不確実性を含んでいます。

また、営業情報は変動する場合があります。最新の情報はHPでご確認ください。
(<https://www.tokyo-dome.co.jp/>)

※金額は単位未満を切り捨て、パーセント・倍率は四捨五入して表示しています。

東京ドームグループの歴史は お客様との「感動共有」の歴史です

当社グループの歴史は、1936年に株式会社後樂園スタジアムを創立したことから始まります。

その翌年には後樂園スタジアムが誕生。現在では世代を問わず、多種多様なニーズにお応えできる
さまざまな施設を有するグループとなりましたが、始まりはたったひとつの野球場でした。

1936 (株) 後樂園スタジアム創立

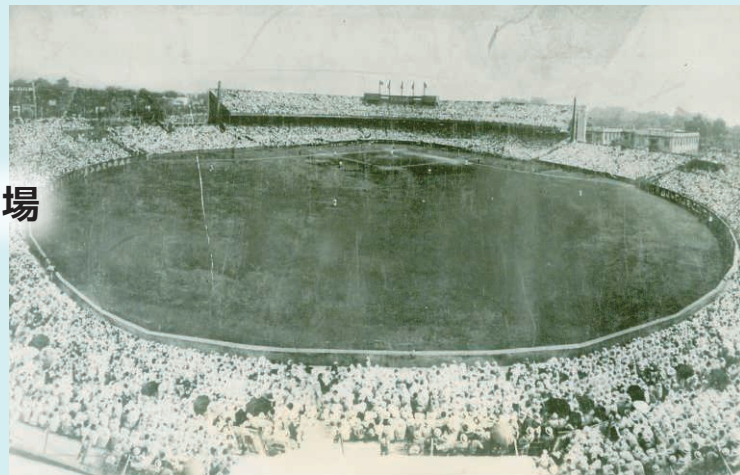
1937 (株) 後樂園野球クラブ (球団名 イーグルス) 設立
～1938年株式譲渡 ※1943年解散

1937 後樂園スタジアム (野球場) 開場 ～1987年閉場

東京の真ん中に「後樂園球場」が誕生。
当時はもちろんのことまだ屋根のない球場で、
プロ野球全8球団の公式戦が開催されていました。

1942 後樂園不動産 (株) 設立

1946 後樂園スタジアム3階に囲碁・将棋遊技場開場
以降、多角経営に進出



1960年代～

社会 (娯楽) の移り変わり

【社会】目覚ましい高度経済成長

【娯楽】国民的娯楽とレジャー施設の誕生

国民的娯楽である野球人気の高まりとともに、遊園地、
ボウリング場、スキー場など、レジャー施設が全国に誕生。

1980年代～

【社会】バブル景気が加熱

【娯楽】全国でホテルやリゾート型施設が急増

スポーツやコンサート、展示会をはじめとするビッグイベント
が全国で続々開催。ホテルやリゾート型施設も急増。

1949 東京証券取引所に株式上場登録

大阪証券取引所に株式上場登録
～2009年上場廃止

後樂園競輪場開場

～1973年都営競輪廃止後、後樂園競技場と名称変更し
夏期はプール、冬期はゴルフ練習場として営業
～1984年閉場

1955 後樂園ゆうえんち (現・東京ドームシティ アトラクションズ) 開場

野球以外のレジャー施設も球場の周りに次々と誕生する中、
「後樂園ゆうえんち」が開場しました。



1959 石打後樂園スキー場、翌年10月石打後樂園カントリークラブ開場
以降、リゾート事業に進出

～2007年事業譲渡

1962 後樂園ボウリング会館
(現・後樂園ホールビル) 全館開場

1965 熱海後樂園 (現・熱海後樂園ホテル) 開業

「熱海後樂園」をはじめとするレジャー施設を、
日本各地で展開していきました。

1969 進商事 (株) 設立

1971 SHOP IN KORAKUEN
(現・shop in) 1号店
「新宿店」開店 ～1989年閉店

1973 黄色いビル開場

1977 黄色いビル別館開場



- 1980** (株) 後樂園ファイナンス設立 ~2006年株式譲渡
- 1981** (株) 後樂園スポーツ(現・(株) 東京ドームスポーツ) 設立
- 1985** (株) 後樂園総合サービス(現・(株) 東京ドームファシリティーズ) 設立
(株) 大阪後樂園ホテル設立 ~2002年清算
- 1986** 大阪後樂園ホテル開業
以降、シティホテル事業に進出 ~2001年閉業
- 1987** (株) 札幌後樂園ホテル設立



1988 東京ドーム開場

日本初の全天候型多目的スタジアム「東京ドーム」が誕生。雨天の心配がなくなったため、スポーツはもちろんのこと、さまざまなビッグイベントやコンサート会場としての利用が増えました。



2003
LaQua開場



2011
ASOBONO! 開場



2014
TeNQ開場



2017
Gallery AaMo開場

東京ドームを中心に“街づくり”がはじまり、2000年代には観光の拠点「東京ドームホテル」や、エンタテインメント型融合商業施設「LaQua」が誕生。癒しやつるぎをテーマにした空間が生まれました。2010年代に入ると、あらゆる世代がともに楽しめる施設を開業したことで街に多様性が生まれ、さまざまな形でお客様と感動を共有できるようになりました。

2000年代～

【社会】長引くデフレとITバブル

【娯楽】個性的かつ多彩なレジャー施設が人気に
多様なライフスタイルに応えるため、個性的かつ多彩な
レジャー施設が誕生。「癒し」を提供する施設も増加。

2010年代～

【社会】リーマンショック後の世界経済の新たな潮流

【娯楽】上質な滞在型施設や体験型レジャーの需要が増加
ワンランク上の上質なサービスを提供する滞在型施設や、
ライブ感あふれる体験型レジャーの人気の上昇。

- 1988** 札幌後樂園ホテル
(東京ドームホテル 札幌に2011年名称変更) 開業
~2017年営業終了
- 1990** (株) 東京ドームに社名変更
- 1996** (株) 東京ドーム・マーチャダイジング設立
- 2000** 東京ドームシティに名称変更
(株) 東京ドーム・リゾートオペレーションズ設立
- 2004** 松戸公産(株)を株式交換により
完全子会社化
- 2008** MEETS PORT開場
- 2017** Spa LaQuaリニューアル

2019「ATAMI BAY RESORT KORAKUEN」 開業



熱海後樂園ホテルが、複合型リゾート「ATAMI BAY RESORT KORAKUEN」として生まれ変わりました。多様な宿泊スタイルに対応できるホテル、熱海最大級の日帰り温泉施設、伊豆の食が楽しめるレストラン&フードマーケットからなる新しい街が誕生しました。

お客様と「感動」を共有できる空間の創造

「顧客のニーズを満たす空間を創造することで、お客様と「感動」を共有すること」こそが、東京ドームグループの力を活かして創造した空間に集まった人々と、多くの「感動」を共有するために、継続

東京ドームグループ経営理念

▶ 企業目的

私たちは人とひととのふれ

▶ 安全理念

東京ドームグループは、お

安全・人材・ガバ

東京ドームグループの力

立地力

レジャー、観光、ビジネスをはじめ、あらゆるニーズに対応する便利な立地です。

施設力

世代を問わず、多様なお客様の「心を動かす」施設が揃っています。

イベント力

多種多様なイベントを常開催し、老若男女問わず多くの人を集めています。

東京ドームグループの特長



施設の特徴 ▶ アクセス至便の好立地 ▶ ニーズに応える集客施設



人が活きる基盤 ▶ 風通しのいい企業風土 ▶ 専門性に富んだ人材群



財務基盤 ▶ 日々の営業から得られる安定したキャッシュ・フロー



レジャーの源 ▶ レジャー事業を企画、運営、管理するノウハウ
▶ 新しい価値を創造する力



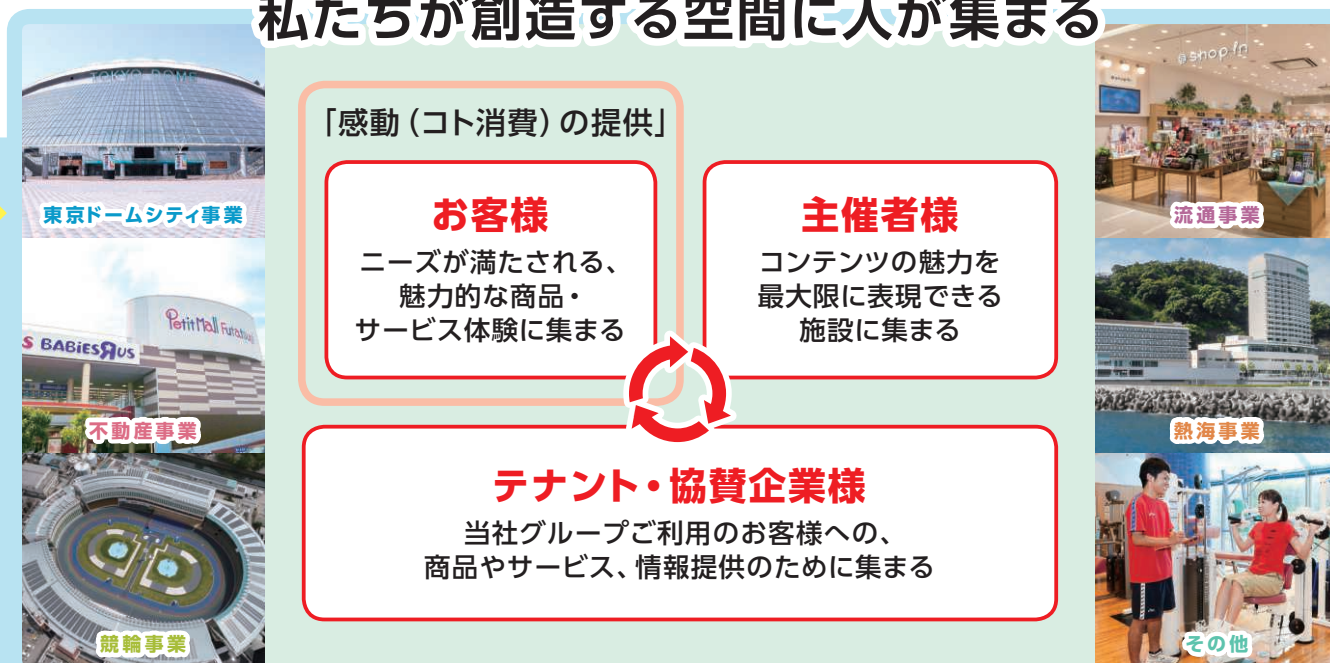
社会との繋がり ▶ 長年顧客に愛された「東京ドーム」「後樂園」ブランド

プの存在意義だと考え、これまでレジャー・エンタテインメントを進化させて来ました。
的に事業を行っています。

あいを通してお客様と「感動」を共有し豊かな社会の実現に貢献します
お客様と「感動」を共有するために、安全を第一に考え、行動します

ナンス・社会貢献

私たちが創造する空間に人が集まる



創造される価値

メディアでも
体感できる
多彩で魅力的な
多くのコンテンツ

現場やメディアを
通して広がる
多様で数多くの
お客様

東京ドームグループの
価値と一緒に
高めてくれる
企業パートナー

現在、東京ドームグループは6つのセグメントで多様な事業を展開しています。

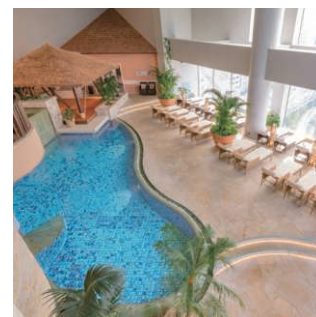
あらゆる世代のお客様に感動を届けるべく、80年にわたり進化を続けてきた当社グループは、現在6つのセグメントで事業を展開しています。

グループの中核である東京ドームシティ事業をはじめ、多種多様な事業を紹介します。

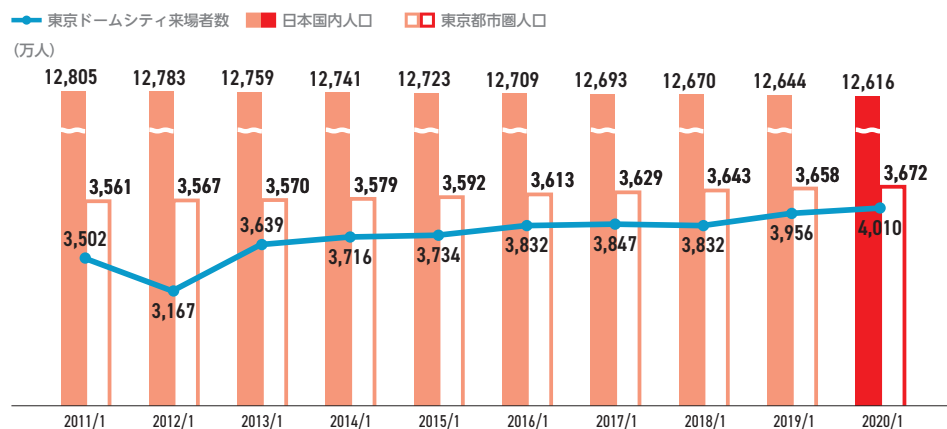


東京ドームシティ事業

「東京ドーム」を中心に、「東京ドームシティ アトラクションズ」や「東京ドームホテル」「LaQua」などの施設を展開。多種多様なラインナップがお客様の回遊性を高め、各施設に相乗効果をもたらしています。

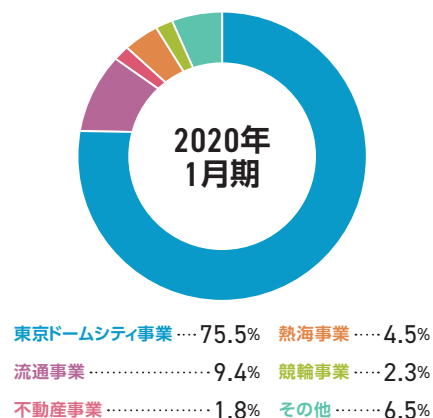


東京ドームシティ来場者数と日本国内人口・東京都市圏（東京・神奈川・千葉・埼玉）人口の推移



※日本国内人口および東京都市圏人口は、総務省統計局「人口推計」より当社各事業年度の10月1日現在より算出。

事業別売上高構成比



東京ドームグループの 施設・サービス一覧



東京ドームシティ事業

ホール

東京ドーム
TOKYO DOME CITY HALL
後楽園ホール
PRISM HALL
シアターGロッソ

スポーツ

スポドリ！
東京ドームボウリングセンター
CuBAR LOUNGE (クーバーラウンジ)
東京ドーム ローラースケートアリーナ
TaKuSuRu (タクスル)

ホテル

東京ドームホテル
ファーストキャビン 東京ドームシティ

テナント施設

LaQua (ラクア)
MEETS PORT
後楽園ホールビル
黄色いビル
Hi! EVERY VALLEY (ハイ！エブリバレー)

アミューズメント

東京ドームシティ アトラクションズ
ASOBono! (アソボノ)
宇宙ミュージアム TeNQ (テンキュー)
ヒーローショー (シアターGロッソ)
Gallery AaMo (ギャラリー アーモ)

スパ

Spa LaQua (スパ ラクア)



流通事業

流通

shop in (ショップイン)
Crème et Rouge (クレームエルージュ)



不動産事業

テナント施設

松戸公産アドホック新宿ビル
プチモールニッポン
柿の木坂BMWビル
松戸公産市ヶ谷ビル
代々木イーストビル
相模原ビル



熱海事業

ホテル

熱海後楽園ホテル

テナント施設

IZU-ICHI (イズイチ)

スパ

オーシャンスパ Fuua (フーア)



競輪事業

競輪

松戸競輪場
サテライト大和
サテライト船橋



その他

スポーツ

フィットネスクラブ東京ドーム
後楽園スポーツクラブ調布
後楽園スイミングスクールひばりが丘
運営受託
スポーツ施設・文化施設等の運営・管理
イベント企画など



流通事業



最新・流行のビューティーアイテムを揃えたセレクトコスメショップ「shop in」と上質なアイテムを厳選した大人の女性のための提案型コスメショップ「Crème et Rouge」を全国で約40店舗展開しています。



不動産事業



首都圏を中心に、アドホック新宿ビルや、千葉県松戸市にあるプチモールニッポンなどの商業施設、代々木や市ヶ谷にオフィスビルなどを保有し、主に賃貸および管理業を展開しています。



熱海事業



東京から新幹線で約50分の複合型リゾート「ATAMI BAY RESORT KORAKUEN」を運営。熱海後楽園ホテル、熱海最大級の日帰り温泉施設、レストラン、フードマーケットなどの施設を展開しています。



競輪事業



松戸競輪場の賃貸および競輪施行者からの運営受託事業です。競輪場運営の豊富なノウハウにより競輪の発展に努めています。サテライト大和(宮城県)等の専用場外発売事業も行っています。



その他



スポーツ施設の直営および約200施設の運営受託、生命・損害・医療保険代理店事業、有価証券の保有・管理事業や、有線テレビジョン放送事業など幅広く事業を展開しています。

レジャー、観光、ビジネスをはじめ、あらゆるニーズに対応する便利な立地です。

好アクセスの都心・文京区に立地
昼夜間あらゆる世代が集まります。

東京ドームシティは都心・文京区に広大な敷地面積を有し、隣接する千代田区、新宿区を含めた昼夜間ともにボリュームあるマーケットにはあらゆる世代の人々が集まります。東京駅から約6分、池袋駅から約7分、新宿駅から約14分、品川駅から約14分と、ターミナル駅からのアクセスに優れ、JR・地下鉄の計5路線が乗り入れています。また、羽田空港から約45分、成田空港から約50分と、空港からのアクセスも良好。幅広い種類のビッグイベントの開催場所としても大きな競争力を有しています。

文京区

東京23区ランキング

人口※1 226,231人

園児・生徒・学生数※2

総数 **3** 位 / 122,662 人

高校生 **3位** / 15,797人

大学生・大学院生 **2位** / 78,415人

新宿区

東京23区ランキング

人口※1 348,424人

園児・生徒・学生数※2

総数 **4位** / 121,202人

大学生・大学院生 **4位** / 70,084人

従業員数※3

4位／654,483人

千代田区

東京23区ランキング

人口※1 66,079人

園児・生徒・学生数※2

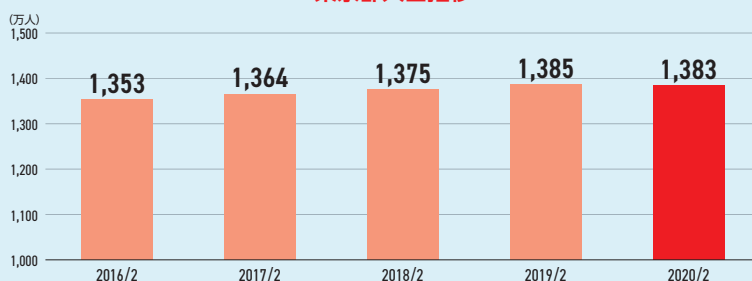
総数 **1位** / 171,799人

大学生・大学院生 **1** 位 / 136,632 人

従業員数※3

2位／952,841人

東京都人口推移※7



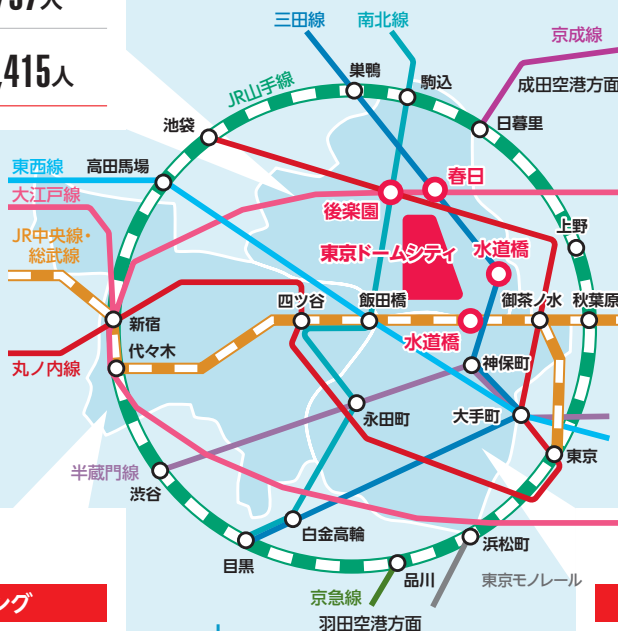
成田空港

1日の平均利用客数 **111,440人**※4

年間利用者数 40,675,400人※4

国内線利用者数 7,249,087人※4

外国人旅客数 18,224,660人※6



羽田空港

1日の平均利用客数 **232,586人**※4

年間利用者数 84,893,742人※4

国内線利用者数 66 924 762人※4

外国人旅客数 8,232,792人※5

※1 東京都「住民基本台帳人口（令和2年2月）」 ※2 文部科学省「学校基本統計（学校基本調査報告書）（令和元年度）」総数は幼稚園・小学校・中学校・高等学校の生徒数・大学・大学院生・専修学校生の総数。 ※3 「平成26年経済センサス-基礎調査結果」（総務省統計局） ※4 国土交通省「平成30年（暦年）空港別乗降客数順位」 ※5 羽田空港「旅客ターミナル利用実績（2018年度）」 ※6 成田国際空港「空港運用状況（2019年）」 ※7 東京都「平成27年国勢調査人口（簡報版）」に基づく人口（推計）を基準とし、これに毎月の住民基本台帳人口の増減数を加えて推計したものと。2020年2月現在より5年間連年作成。 ※8 JR東日本「各駅の乗車人口（2018年度）」、東京メトロ「各駅の乗降人員ランギング（2018年度）」、東京都交通局「各駅乗降人員一覧（2018年度）」のデータを基に作成。JR東日本は乗車人数のみ公表のため、乗車人員数を2倍し算出。 ※9 各所要時間には乗り換え時間は含まれません。 ※10 「東京ドームグループTOポイントプログラム 会員属性」より。

乗降人員^{※8}
約**107,000人/日**

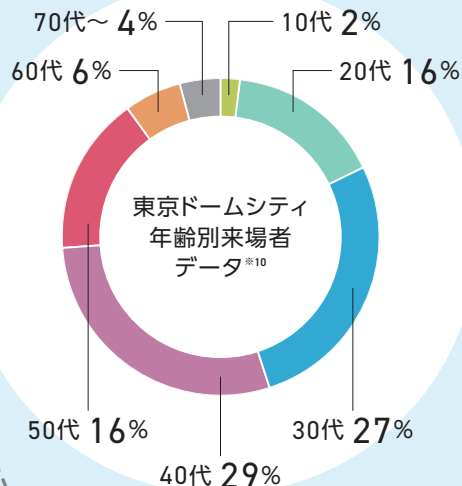
乗降人員^{※8}
約**130,000人/日**

都営大江戸線・
三田線 春日駅

東京メトロ
丸ノ内線・南北線
後樂園駅

東京メトロ丸ノ内線・南北線
後樂園駅アクセス^{※8}

池袋駅から約**7分**
東京駅から約**9分**



LaQua

白山通り

LaQua・
東京ドームシティ アトラクションズ
エリア来場者

約**46,000人/日**

東京ドーム

都営三田線水道橋駅アクセス^{※9}

羽田空港から
約**45分**



東京ドームシティ アトラクションズ

PRISM HALL

後樂園ホールビル

黄色いビル

東京ドームホテル

MEETS PORT

乗降人員^{※8}
約**48,000人/日**

都営三田線
水道橋駅

JR総武線水道橋駅アクセス^{※9}

JR東京駅から約**6分**
JR品川駅から約**14分**
JR新宿駅から約**14分**
羽田空港から約**45分**
成田空港から約**50分**



乗降人員^{※8}
約**167,000人/日**

JR総武線
水道橋駅

東京ドームホテル・
MEETS PORTエリア来場者
約**16,000人/日**

外堀通り

東京ドーム・黄色いビル・
後樂園ホールビル・
PRISM HALLエリア来場者
約**46,000人/日**

「施設力」

世代を問わず、多様なお客様の「心を動かす」施設が揃っています。

「観る」を超えた 会場との一体感を体感する『感動』



NEWS 東京ドーム リニューアル工事を実施

新たなニーズに対応するため、リニューアル工事を行いました。通信インフラを使用した将来の商品・サービスにスムーズに対応できる、「高密度Wi-Fi」を整備。また内野席最後部と立ち見エリアを改修し、半個室のプライベートルームも新設しました。さらに車椅子席を22席増やすなど、環境改善に努めています。

全天候型多目的スタジアム 東京ドーム

東京ドームシティの“顔”とも言える、日本初の全天候型多目的スタジアム。1988年の開場以来、野球をはじめとするスポーツはもちろんのこと、コンサートや展示会など年間を通じて多種多様なビッグイベントが開催されています。天候を気にすることなく、利用者も来場者も安心して使用できます。

開場	1988年
面積	建築面積／46,755㎡ グラウンド／13,000㎡
容積	124万㎡
階数	地下2階～地上6階
高さ	最高部の高さ／地上 56.19m グラウンド面からの高さ／61.69m
収容人数	野球46,000人 コンサート55,000人
年間来場者数	9,773,000人

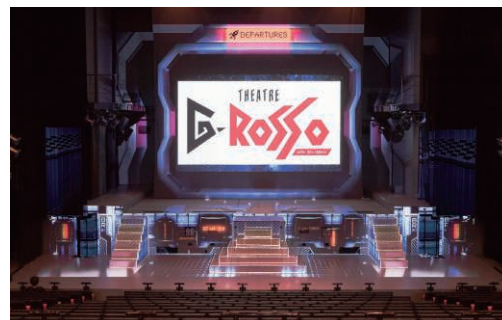
老若男女あらゆる世代に向けたビッグイベントを、多種多様なホールで年間通じて開催。単なる「観る」を超えた会場との一体感のなかで、スポーツ、コンサート、格闘技をはじめ一生に一度の「歴史的瞬間」に出会えます。



PRISM HALL

最大約2,000人収容のビジネス・展示会系イベントなどさまざまな用途に対応可能なホール。年間100件以上のイベントを開催しています。

開場	1990年
面積	フロア面積／2,809㎡
高さ	天井高／5m
収容人数	2,085人



シアターGロッソ

40年以上開催されてきたヒーローショーの準専用劇場。照明・音響の基本設備のほか最新の映像システムを完備し、ミュージカルや音楽イベントにも使われるほか、研修や講演会にも対応可能です。3層式の舞台は、イベントに応じて舞台を仕切って使用できます。

開場	2009年
階数	ジオポリス地下1階～地上1階
座席数	765席（別途、車椅子3台対応スペース有）

後楽園ホール

“格闘技の聖地”後楽園ホールは、リングを外せば新商品発表会やダンス競技会などに利用される最大収容人数2,005人の多目的ホールです。

開場	1962年
面積	ホール／575㎡ 展示会場／171㎡
階数	後楽園ホールビル5階～6階
収容人数	2,005人

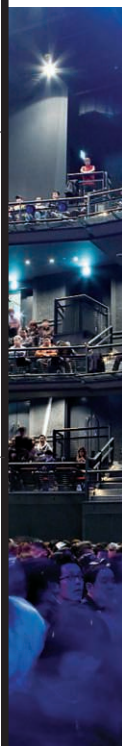


多機能ホール

TOKYO DOME CITY HALL

スタンディングで最大3,000人超の収容人数を誇る、都心でも類を見ない多機能ホール。臨場感と一体感にこだわった高性能の音響・照明システムを備え、コンサート、ミュージカル、映画、格闘技、ビジネスなど多様な用途に対応。常に高い稼働率を維持しています。

開場	2008年
面積	フロア面積／10,000㎡ 延床面積／12,300㎡
階数	MEETS PORT 地下3階～地上2階
収容人数	3,190人
年間イベント開催数	354回
年間ホール稼働率	120.0%



ファミリーや友人と 忘れられない思い出を共有する『感動』



ファミリーで楽しめる新アトラクションが登場

2019年3月、「ジオポリスゾーン」に新アトラクションをオープンしました。1周目は前向き、2周目は後ろ向きに進むという意外性満載の屋内コースター「バックダーン」と、3Dメガネをかけて迫力ある映像と連動するシートに座り、光線銃で標的を射撃するシューティングアトラクション「ガンガンバトルーズ」の2機種です。

入園無料の都心の遊園地 東京ドームシティ アトラクションズ

小さなお子様から大人まで、入園無料で1日楽しめる遊園地。センターレス大観覧車「ビッグ・オー」や最高斜度80度で急降下するジェットコースター「サンダードルフィン」など、ほかにも定期的に新アトラクションを導入し、365日営業でお客様をお待ちしています。

開場	1955年(旧・後樂園ゆうえんち)
面積	敷地面積／30,000㎡
アトラクション数	24基
アトラクション利用者数	16,000人／日

東京ドームシティには、小さなお子様からおじいちゃん、おばあちゃんまで楽しめる多彩なアトラクション・施設が充実。ファミリーやパートナー、友人たちと過ごした楽しい時間は、きっと忘れられない思い出になるはず。



都内最大級の 屋内型キッズ施設 ASOBONO!

ファミリーで楽しめる都内最大級の屋内型キッズ施設。身体を使って遊ぶコーナーや、頭を使って楽しむゲームコーナーなど5つのエリアにわかれ、お子様の成長や性格に合わせて楽しめます。家族力がアップする仕掛け満載の施設です。

開場	2011年
面積	敷地面積／1,720㎡
プレイエリア	5箇所
対象年齢	0歳～12歳
定員	500人
年間来場者数	362,000人



PICK UP CuBAR LOUNGE



東京ドーム ボウリングセンター

2フロア計54レーンからなるボウリングセンター。すべてのレーンにオートスコアラーシステム、ノンガターのシステムを備え、ファミリーから企業のボウリング大会まで、幅広いニーズにお応えしています。

開場	1973年
面積	延床面積／3,600㎡
階数	黄色いビル4階～5階
レーン数	54レーン

1フロア14レーンの独立した空間にはバーカウンターが併設されており、友人や会社の仲間とお酒を飲みながらボウリングをお楽しみいただける、ラウンジ風のクラシックなスペースです。豊富なドリンクメニューのほか、軽いフードメニューもご提供します。

体を動かし、いい汗で『感動』 ストレスを解消する

みんなで気軽に楽しめる卓球やローラースケートから、
体を思いきり動かせる野球やゴルフなど本格派のスポーツ施設まで。
「いい汗」をたくさんかいて、日頃の疲れやストレスを解消できます。

スタイリッシュな卓球スペース TaKuSuRu

卓球発祥の地イングランドをモチーフとした施設で、平日の昼は「学ぶ」場の卓球教室として、平日夜と土日祝日は「遊ぶ」場の卓球スペースとして楽しめます。世界選手権で使用されたものと同タイプの卓球台に加え、有名選手使用モデルの卓球用具もご利用できるなど老若男女幅広い客層の方々に楽しんでいただけます。

開場	2018年
面積	87㎡
階数	黄色いビル5階

東京ドーム ローラースケートアリーナ

なめらかで最高品質なフラットリンク。思い切り滑れる1周約100mのメインリンクと、小さなお子様や初心者でも安心して楽しめるミニリンクを有する都内最大級の屋内ローラースケート施設です。

開場	2011年
面積	フロア面積／1,600㎡
階数	黄色いビル4階
エリア	40m×24mのメインリンク、ミニリンクエリア、ダンスエリア



スポドリ!

野球、ゴルフ、ボルダリングを楽しめる屋内型スポーツ施設。「スポーツ人(=スポーツにチャレンジする人)のさまざまな想いを受け止める」をコンセプトに、インストラクターの丁寧な指導により、誰もが気軽に楽しく、また真剣にスポーツにチャレンジできる環境を提供しています。

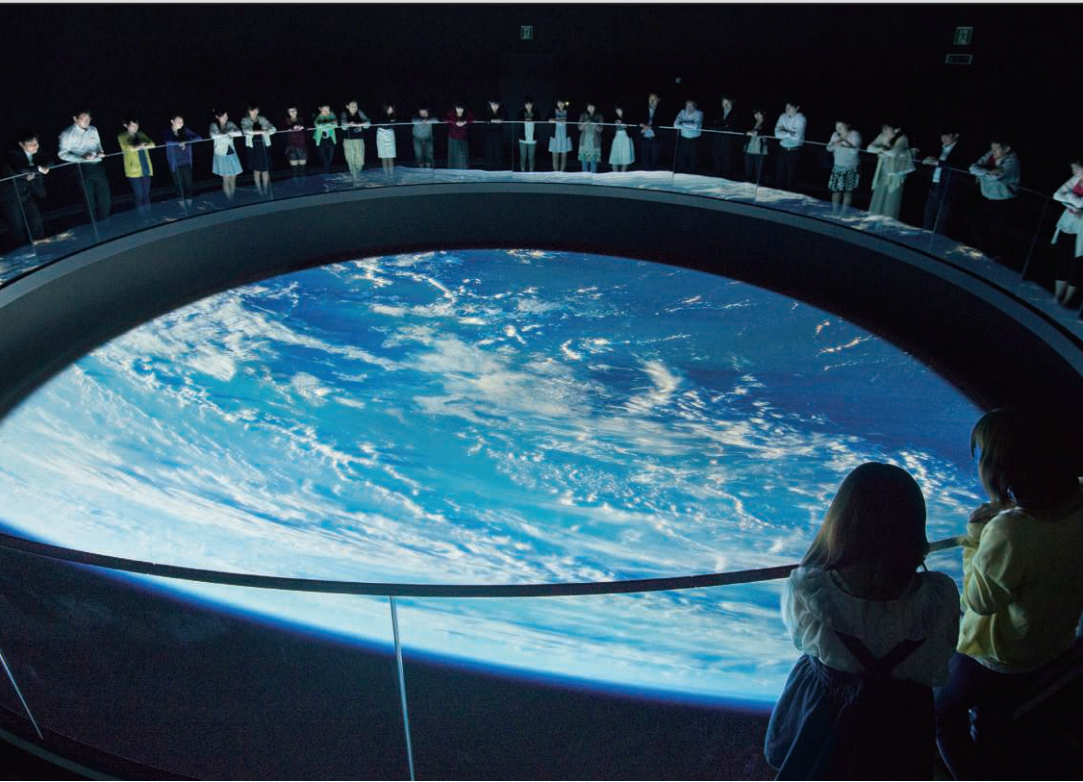
開場	2013年
面積	フロア面積／2,600㎡
階数	黄色いビル3階
エリア	野球エリア、ゴルフエリア、ボルダリングエリア、多目的フィールド



楽しみながら『感動』 知的好奇心を満たせる

知的な刺激と興奮に満ちた、ライブ感ある体験型ミュージアム&ギャラリーは、
自分の興味や学びにじっくりひたることができる空間。

幅広い年代のお客様が、楽しみながら知的好奇心を満たせます。



「宇宙を感動する」仕掛けが満載 宇宙ミュージアム TeNQ

「宇宙を感動する」というコンセプトのもと、
これまでとは違った視点から「なるほど!」
「もっと知りたい!」「誰かに話したい!」とい
う知的好奇心を刺激するミュージアム。壮
大な宇宙映像が圧巻の「シアター宙」をは
じめ、幅広いお客様が楽しみながら宇宙を
体感できるエンタテインメント施設です。

開場	2014年
面積	フロア面積／2,600㎡
階数	黄色いビル6階
シアター宙	サイズ／直径11m 解像度／4K×4K

大人のための遊べるギャラリー Gallery AaMo

エンタテインメント性とアートの融合による、
「楽しさ」と「ライブ感」を体験できる大人
のための「遊べる」ギャラリー。最先端の
メディアアートから工芸、サブカルチャー
まで、さまざまなジャンルの催事を継続的
に展開しています。

開場	2017年
面積	フロア面積／830㎡
高さ	天井高／5m



「柳野展正のアウトサイド・ジャパン展」
会期：2019年4月12日
～2019年5月19日



「篠山紀信展 写真力
THE PEOPLE by KISHIN The Last Show」
会期：2019年9月5日
～2019年10月27日

新しい美味しさと 素敵な物に出会える『感動』



フード&コミュニティ Hi!EVERYVALLEY

2019年3月に黄色いビルエリアに開業。コンテナを用いた複数の飲食店を中心に、緑やアートなどに囲われた“憩い”“賑わう”フード&コミュニティです。緑あふれるガーデン空間には、ひとりでもグループでも気軽に利用できる個性的な飲食店に加え、ワクワクする仕掛けが満載です。

開業 2019年
階数 黄色いビル1階～2階
テナント数 6店舗



PICK UP その他テナント

東京ドームシティ全域に、各店の売上の最大化を見込めるテナント・ミックスを前提に、施設、エリアにふさわしいテナントを誘致しています。テナントとの共存共栄によって幅広いお客様のニーズに応える施設づくりを推進しており、テナントの成長とともに、東京ドームシティ全体の成長と価値向上を実現しています。

東京ドームシティ各所にある飲食店やショップは、常にリニューアルを行いながら新しい美味しさと素敵な物を提供中。ファミリーや若い女性を中心に賑わい、ガーデン散策も楽しめる都会のオアシスです。



エンタテインメント型 融合商業施設

LaQua

水をテーマに、ショップ&レストラン、アトラクション、スパの3つのゾーンが集結したエンタテインメント型融合商業施設。天然温泉が湧き出るスパと、トレンド感あるショップ&レストラン、バラエティ豊かなアトラクションは、若い女性をはじめファミリーで楽しめます。開業17周年を迎え、常に「五感を刺激する」サービスを提供し続けています。

開業	2003年
面積	敷地面積／16,000㎡ 延床面積／55,500㎡
階数	地下2階～地上9階
年間来場者数	15,370,000人
テナント年間売上高	13,532百万円
テナント数	約70店舗

3つの機能を複合化した都会のオアシス

MEETS PORT

2008年、東京ドームシティと水道橋駅を結ぶ東ゲート地区に誕生。上質で多彩なショップ&ダイニングと、TOKYO DOME CITY HALL、訪れる人をやさしく出迎える緑あふれるプロムナードガーデンという3つの機能を複合化した施設です。東京ドームシティ玄関口の好立地にあるため来場者数が多く、周囲や施設内のアートワークも見どころのひとつです。

開業	2008年
面積	敷地面積／6,579㎡ 延床面積／21,405㎡
階数	地下4階～地上5階
年間来場者数	4,283,000人
テナント年間売上高	1,895百万円
テナント数	約10店舗



日常から離れた癒しの空間で過ごす『感動』



東京ドーム天然温泉

Spa LaQua

都会の真ん中で気軽にリフレッシュできる、国内最大級の温浴施設。東京ドームシティの地下1,700mから湧き出た天然温泉、大人の楽園ヒーリング バーデ、広々としたリラクゼーションスペースに多種多様なトリートメント&ビューティーサロンなどを併設。「檜風呂炭酸泉」、本格的な「フィンランドサウナ」、日本の温浴施設初の「ヴィシーシャワートリートメント」は大人気です。

開業	2003年
面積	延床面積／10,000㎡
階数	ラクーアビル5階～9階
泉質	ナトリウム-塩化物強塩泉
年間来場者数	751,000人

多目的に利用できるシティホテル 東京ドームホテル

1,006室の客室や多彩なレストラン・バー、オリエントリテ豊かな宴会・婚礼プランを備えた地上43階建てのシティホテル。5つの駅に囲まれた都心のどこに行くにも便利な好立地で、観光・レジャーやビジネスの拠点として国内外問わず多くの方に利用されています。

開業	2000年
面積	敷地面積／15,865㎡ 延床面積／105,856㎡
階数	地下3階～地上43階
高さ	155m
客室	1,006室
年間客室稼働率	86.6%



都会の真ん中で心と体を癒すことができる天然温泉スパと、
レジャーやビジネスユースに最適な宿泊施設が揃っています。
休日は熱海の複合型リゾートで、
温泉と海の幸を心ゆくまで堪能を。



オーシャンスパ Fuua

相模灘を一望できる日帰り温泉施設。日本最大級の露天立ち湯、岩盤浴やロウリュ、海辺のテラスにいるかのような開放的な休憩エリア、カフェ、エステサロンなどを備えています。

開業 2019年
泉質 カルシウム・ナトリウム塩化物泉



熱海後樂園ホテル

贅沢な空間と眺望が人気のエクセレンシフロアを含むタワー館客室に加え、海を望めるオーシャンビュールームを含む新館「AQUA SQUARE」を合わせたリゾートホテル。

開業 1965年 階数 地上18階
高さ 79m 客室 189室



IZU-ICHI

伊豆の美味しい食や素敵なモノが集まる活気溢れる「【市】場」。品揃えも雰囲気も伊豆「随【一】」、伊豆方面に出かけた時には「【一】番」に立ち寄りたいたいフードマーケットフロア。海を見ながら食事が楽しめるレストラン「HARBOR'S W」、伊豆の食物販「ラ・伊豆 マルシェ」のほかに、熱海オリジナルスイーツを販売するテイクアウトショップや、海のアクセサリなどの雑貨を扱うショップも展開しています。

開業 2019年 席数 店内／256席、テラス／30席 (HARBOR'S W)

複合型リゾート

ATAMI BAY RESORT KORAKUEN

従来のタワー館に加え、新館「AQUA SQUARE (アクア スクエア)」が加わった「熱海後樂園ホテル」、日帰り温泉施設「オーシャンスパ Fuua」、伊豆の食材を楽しめるレストラン「HARBOR'S W」と伊豆周辺の美味しい食に出会える「ラ・伊豆 マルシェ」などが集まるマーケット「IZU-ICHI」からなる複合型リゾートです。

開業 2019年
年間来場者数見込 宿泊施設／124,000人
温泉施設／137,000人



東京ドームシティならではの多彩なイベントを、年間を通じて開催しています。



プロ野球／その他スポーツ

しまじろうと ゆめの
ヒーローランド

東京ドームシティ
GIANTS開幕祭

Wヒーロー夏祭り

わくわく!
ウォーターガーデン

卒業生いらっしゃい

よりみち学割

お化け屋敷「怨霊座敷」
夏の特別演出
『怨み針の女』

東京ドームシティ
夏祭り2019

宇宙ミュージアムTeNQ
『エリック・カールと宙(そら)展』

PICK UP 詳細は次のページへ

昭和から続くヒーローショー

1971年から続く、テレビで見ていたヒーローが目の前で大活躍する、長年お客様から愛されているヒーローショーです。後楽園ゆうえんちの野外劇場ではじまり、スカイシアター、そして屋内型の劇場「シアターGロッソ」での公演と、時代とともにヒーローの魅力を存分に引き出しつつ、照明や映像効果でも新しい体験を提供しています。

ヒーロー達の大迫力のアクションとおお客様の心のこもった応援で、一緒に困難を乗り越えたとき、会場は大きな達成感と感動に包まれます。この感動体験は、ご祖父母さまから親御さま、お子さまと親子3代に引き継がれて楽しまれています。



©石森プロ・東映



©2020 テレビ朝日・東映AG・東映



東京ドームシティでは、ファミリー、カップル、シニアなどさまざまなターゲットに向けたイベントを、年間を通じて常開催しています。プロ野球やコンサート、展示会などのビッグイベントはもちろんのこと、お子様向けのアトラクションや、最新のトレンドを意識した女性向けのキャンペーン、ファミリーみんなで楽しめるご当地の食イベントから、恒例の冬のイルミネーションなど季節ごとに変わるイベントまで。オリジナル性の高いイベントで年間を通じて多くの人を集め、毎日賑わいを見せています。



イベント／コンサート／ビジネス展示会

東京ドームシティ
ハッピーハロウィン

ブドウの恵みでキレイになる
～Autumn in
Spa LaQua～

ウルトラヒーローズEXPO 2020
ニューイヤーフェスティバル
IN 東京ドームシティ

東京ドームシティ
秋のおでかけ
スペシャル

全国ご当地
どんぶり選手権
予選会

東京国際
キルトフェスティバル
—布と針と糸の祭典—

テーブルウェア・
フェスティバル
～暮らしを彩る器展～

和ハロウィン

PICK UP 詳細は次のページへ

ふるさと祭り東京

PICK UP 詳細は次のページへ

東京ドームシティ
ウィンターイルミネーション

PICK UP 詳細は次のページへ

平成から続くテーブルウェア・フェスティバル

1993年よりスタートした、「テーブルウェア・フェスティバル」は、日本各地の窯元の作品や世界各国の陶磁器をはじめ、ガラス、漆器、木工品など、食卓を彩るさまざまなテーブルウェアが一堂に会する日本最大級の“器の祭典”です。多様なライフスタイルを表現するテーブルセッティングの展示や、日々の暮らしに彩りを添える逸品に出会える販売コーナーを中心に、13万点以上もの商品が東京ドームに並び、毎年27万人以上の方々にご来場いただいております。展示やお買い物だけでなく、コンテストや著名人によるステージイベント、来場者参加型セミナーなど、さまざまな楽しみ方をご提供しています。



まだまだある!
東京ドームグループの力

各種イベントを成功させる

東京ドームグループには、ファミリー、カップル、シニアなどさまざまなターゲットに向け東京ドームでしか体験することができない、オリジナリティーあふれるイベントを常に開

CASE
1

ふるさと祭り東京

東京ドームでしか味わえないお祭り体験を提供

日本の伝統の“祭”とご当地の“味”が、1年に1度、東京ドームに集結します。2020年開催時は、過去最高の入場者数を記録。東京ドームがお客様に提供してきた「エンタテインメント」の要素を、日本のお祭りと掛け合わせ、東京ドームならではのお祭り体験を存分に味わえるイベントです。お客様をはじめ、各お祭りの出演者の方々、ご協力の自治体の方々からも高い評価をいただき、「ほかのイベントでも同じような企画・コンテンツ展開をやって欲しい」というお声をいただいています。

培ってきたエンタテインメントのノウハウを存分に活用

お祭り本来の良さを活かしながら、東京ドームらしい「エンタテインメント」の要素を掛け合わせることにこだわっています。お祭りの魅力をより多くのお客様に伝えるために、これまで東京ドームで培ってきたオリジナリティーあるコンテンツ作りのノウハウを、存分に活かせるように心がけています。



CASE
2

宇宙ミュージアムTeNQ 企画展示

大人から子どもまで幅広く楽しめる展示を展開

常設施設であるTeNQでは、「新しい客層へのアプローチ」と「リピートしなくなるコンテンツ」のどちらもが重要な要素です。年に数回企画展示を更新し、新規・リピーター問わず、多くのお客様へアピールしています。開催時期やTDC内のイベントなど、さまざまな要素に合わせて随時ターゲットを設定し、内容を検討。たとえば、2019年に開催した『エリック・カールと宙(そら)展』では、夏休みのファミリーやアート好きの女性に向けて、大人から子どもまで幅広く楽しめる展示を目指しました。

お客様が見たい展示・コンテンツを追求

「お客様が見たい展示を作る」という、一番の目的を忘れないように心がけています。予算やスケジュールといった制約がある中でも、お客様に心から楽しんでいただける企画展にすべく、最大限手を尽くすことが私たちの使命です。前述の企画展でも、体験型の展示や人気声優のオリジナルコンテンツを用意し、ファミリー、アートファン、声優ファンをはじめ幅広い層のお客様にご来場いただきました。



TM & ©PRH

企画力・実行力

た多種多様なイベントを、年間を通じて開催できる「企画力」と「実行力」があります。

催し、老若男女問わず国内外から多くの人を集めています。

CASE
3

和ハロウィーン in 東京ドームシティ アトラクションズ

オリジナリティーある新しいハロウィーンを提案

東京ドームシティ アトラクションズが提案する新たなハロウィーンの形として、2019年は「和ハロウィーン in 東京ドームシティ アトラクションズ」を開催しました。株式会社闇プロデュースのやぐらを中心にお化けと踊ることができる「盆踊りハロウィーン」や、VR×リアル恐怖体験「怨霊の金縛り屋敷」、五味弘文氏プロデュース「怨霊座敷」の秋の特別企画である「お化け屋敷の深夜巡回」など、東京ドームシティでしか楽しめないオリジナルなイベントの開発を意識しました。

東京ドーム発信の独自性あるイベントを開催

近年、著名なアニメや漫画などのビッグコンテンツとタッグを組んで、積極的にイベントを行っています。その一方で、東京ドームから発信する独自性あるイベントの開催も常に試みています。お客様に「いつも何か新しいことをやっている遊園地」と認知していただき、毎回新鮮な気持ちで楽しんでいただけることを目指しています。



CASE
4

東京ドームシティ ウィンターイルミネーション

独自性あるイルミネーションで国内外のお客様にアピール

毎年テーマを変えて、東京ドームシティ内の各エリアそれぞれの切り口で、特徴あるイルミネーションを展開しています。2019年度のイルミネーションのテーマは「和」。日本に来た外国のお客様にとって、夜の娯楽がまだ少ないと言われることや、おもなインバウンドの目的のひとつにイルミネーションが挙げられることを受け、外国のお客様にもわかりやすく楽しんでいただけるイベントを目指しています。

イルミネーションと連動する企画でも差別化

テーマ性を持たせることで他施設との差別化を図り、東京ドームシティだからこそできるイルミネーションを作ること意識しています。また、イルミネーションに併せて東京ドームシティ内の飲食店舗とコラボした限定メニューの提供や、エリア内を巡るスタンプラリーイベントなども開催。世代を問わず、東京ドームシティを訪れる多くの国内外のお客様に楽しんでいただけるイルミネーションとなりました。



蓄積されたノウハウを活かし、
質の高いトータルソリューションを提供しています。



イベント力

- イベント企画
- 提案
- プログラム構築

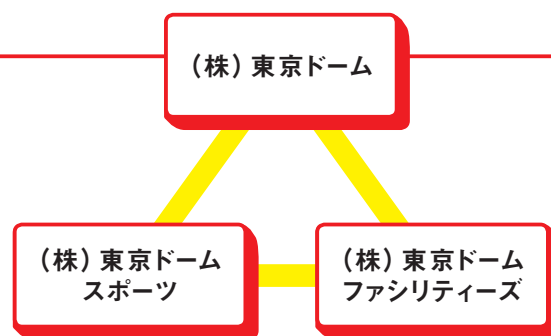
東京ドームグループでは、さまざまなターゲットに向けた多種多様なイベントを年間通じて開催し、老若男女問わず多くの人を集めています。プロ野球やコンサートはもとより、展示会など大規模コンベンションの導入も増えており、イベント企画や提案、プログラム構築に多くの知見を有しています。また、中小規模のイベントでも、最新のトレンドを意識したキャンペーンやファミリーで楽しめるプログラムなど、集客力のある企画立案が可能です。

トータルソリューションとして グループの総合力で実現する良質な

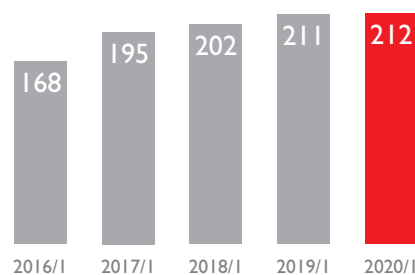
東京ドームグループが運営する公共スポーツ施設

東京ドームグループのPPP事業(Public Private Partnership)では、指定管理者制度を利用した施設の運営管理受託(行政業務の代行)を行っています。質の高い行政サービスを住民に提供したいと考える地方自治体からは、東京ドームグループのPPP事業について4つの点で高く評価いただいています。①安全・安心な環境整備手法、②施設の運営管理に対して総合的な提案が可能、③東京ドームの資源を活用したイベント企画、④充実したスポーツプログラムの提供ノウハウの4点です。特に、最も多く運営管理を受託する体育館などの公共スポーツ施設では、民間フィットネスクラブを経営してきた東京ドームグループならではの健康増進や競技力向上に資する多彩なスタジオプログラムやお子様向けのスクール事業の提供が、地方自治体や地域の利用者から大変喜ばれています。

また、各現場で東京ドームグループの経営理念「私たちは人とひととのふれあいを通してお客様と「感動」を共有し豊かな社会の実現に貢献します」を実践すべく、(株)東京ドームの教育センター部と連携した研修計画などを立案・実行しています。今後は、民間資金やノウハウを活用して効率的な施設整備や管理運営を行うPFI方式(Private Finance Initiative)での施設運営にも積極的に取り組んでまいります。



受託施設数の推移



当社グループでは、一般企業や自治体のお客様に対し、グループ各社が長年培ってきたイベント企画、スポーツ施設運営、施設管理などのノウハウをひとつにまとめたトータルソリューションを提供しています。さまざまなジャンルの集客イベントやスクールプログラムの企画・運営、ビル・施設などの運営・保守・管理など質の高いサービスを展開します。

施設力 ●接客対応 ●施設運営管理

東京ドームグループは多彩なイベントやキャンペーン、健康増進プログラムなどの実現を可能にする「心を動かす」施設の運営ノウハウを備えています。あらゆる世代が質の高い接客により気持ちよく施設を利用でき、多種多様なイベントが安全・安心・快適に開催される施設を運営し、維持管理・保守点検するワンストップのサービスをお客様のニーズに沿って提供しています。また、長年の施設運営管理で培った専門的知見の高さを活かしたアドバイザリーも行っております。



東京ドームシティ外に提供 サービスとコストパフォーマンス



➤ 武蔵野の森総合スポーツプラザ



➤ 板橋区立体育施設 22施設



➤ 天童市子育て未来館 げんキッズ

- 東京ドームスポーツセンター東久留米(東久留米市スポーツセンター) ➤ 東村山市民スポーツセンター
- 東村山市民ステーションサンパルネ ➤ 西東京市スポーツ・運動施設10施設 ➤ 文京総合体育館外6スポーツ施設
- 練馬区立中村南スポーツ交流センター ➤ 豊島区立巣鴨体育館 ➤ 豊島区IKE・Biz としま産業振興プラザ
- キックマンアリーナ(流山市民総合体育館) ➤ 流山市思井福祉会館・児童センター ➤ 流山市野々下福祉会館・児童センター
- 流山市向小金福祉会館・児童センター ➤ 松戸市小金原市民センターほか7市民センター ➤ 我孫子市あびこ市民活動ステーション
- 印西市市民活動支援センター ➤ 本庄総合公園体育館(シルフドーム)ほか6施設 ➤ 山形県上山市総合子どもセンター「めんごりあ」
- 南アルプス市 遊・湯ふれあい公園 後楽園スポーツクラブ ➤ 豊能町立スポーツセンター シートス
- 大阪府大阪狭山市立総合体育館他6施設 ➤ 静岡県草薙総合運動場 ➤ 熊本県菊池市総合体育館 ほか

▶ 東京ドームにおける野球関連イベント開催日数の増加などにより売上は上回ったものの、補修整備費や業務委託費などの増により営業利益は下回る

▶ 有利子負債残高は、中期経営計画目標額を達成

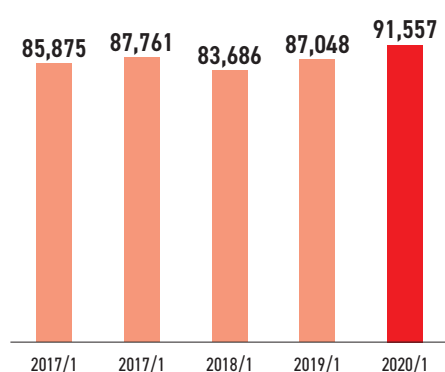
2020年1月期の概況

連結業績は、台風などの自然災害による影響はありましたが、東京ドームにおける野球関連イベントの開催日数の増加や、東京ドーム内の飲食店舗の販売好調、および昨年3月に複合型リゾート「ATAMI BAY RESORT KORAKUEN」を開業したことなどにより、売上高は915億5千7百万円（前年同期比5.2%増）、営業利益は117億2千8百万円（前年同期比2.2%増）、経常利益は106億6千9百万円（前年同期比2.6%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は80億2百万円（前年同期比14.9%増）となりました。

経営目標の推移

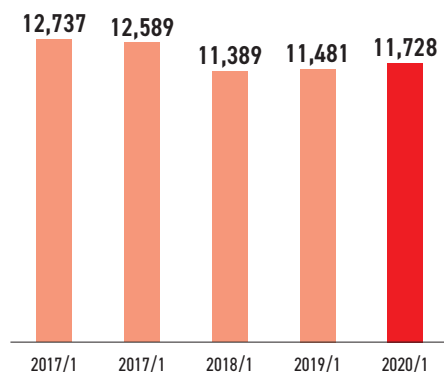
売上高

(百万円)



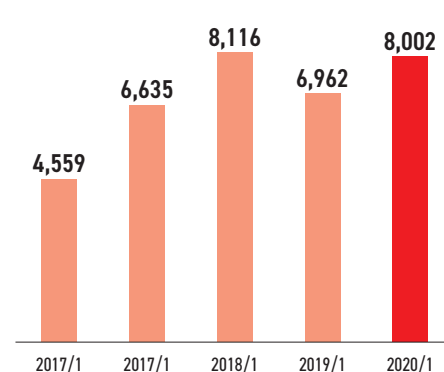
営業利益

(百万円)



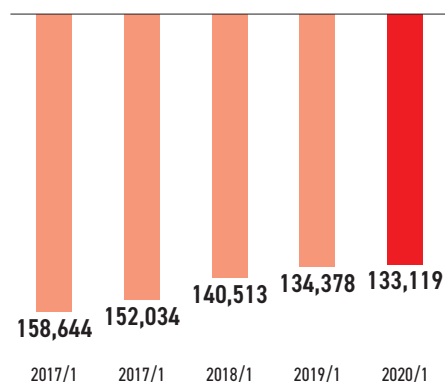
親会社株主に帰属する 当期純利益

(百万円)



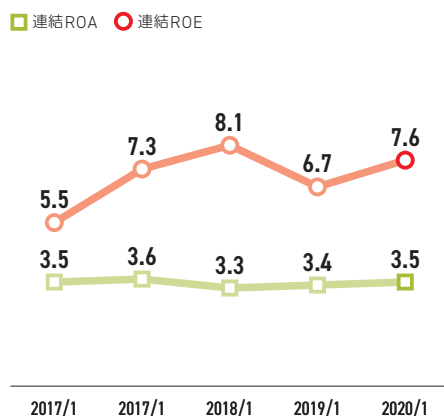
有利子負債残高

(百万円)



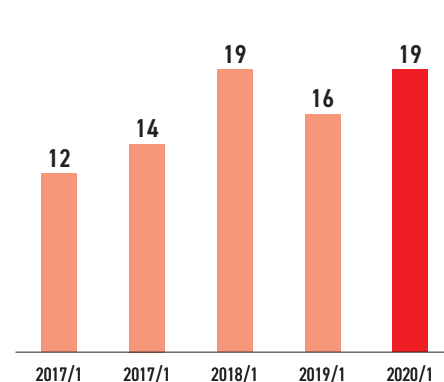
連結ROA／連結ROE

(%)



1株当たり配当額

(円)



▶ 連結

株式会社東京ドームおよび連結子会社
1月31日で終了した1年間

	2016/1	2017/1	2018/1	2019/1	2020/1
経営成績 (百万円)					
売上高	85,875	87,761	83,686	87,048	91,557
売上原価	67,858	69,441	66,478	69,754	74,039
一般管理費	5,280	5,730	5,819	5,812	5,789
営業利益	12,737	12,589	11,389	11,481	11,728
経常利益	10,636	10,771	10,057	10,402	10,669
親会社株主に帰属する当期純利益	4,559	6,635	8,116	6,962	8,002
総資産	302,715	303,503	306,676	299,080	304,350
純資産	86,312	94,602	105,439	102,070	108,553
土地再評価差額金	53,871	55,286	55,286	55,286	55,112
設備投資額	5,853	7,652	9,587	17,176	6,747
減価償却費	7,517	6,746	6,751	6,902	7,594
有利子負債残高	158,644	152,034	140,513	134,378	133,119
営業活動によるキャッシュ・フロー	19,405	19,185	17,676	16,845	19,827
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 6,367	△ 6,725	△ 6,657	△ 11,311	△ 8,085
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 10,310	△ 9,110	△ 14,062	△ 12,563	△ 4,547
現金及び現金同等物の期末残高	17,289	20,639	17,595	10,566	17,761
1株当たり情報 (円)					
1株当たり当期純利益*	47.84	69.63	85.17	73.88	86.70
1株当たり配当額	12	14	19	16	19
1株当たり純資産	905.63	992.68	1,106.41	1,105.89	1,176.13
財務指標 (%)					
売上高営業利益率	14.8	14.3	13.6	13.2	12.8
売上高当期純利益率	5.3	7.6	9.7	8.0	8.7
自己資本利益率(ROE)	5.5	7.3	8.1	6.7	7.6
総資産経常利益率(ROA)	3.5	3.6	3.3	3.4	3.5
自己資本比率	28.5	31.2	34.4	34.1	35.7
D/Eレシオ(倍)	1.8	1.6	1.3	1.3	1.2

▶ 個別

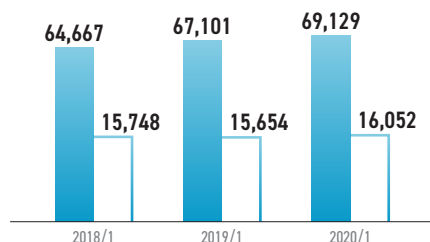
株式会社東京ドーム
1月31日で終了した1年間

	2016/1	2017/1	2018/1	2019/1	2020/1
経営成績 (百万円)					
売上高	59,679	61,857	61,369	64,490	67,698
売上原価	44,874	46,541	46,169	49,371	51,918
一般管理費	3,737	4,080	4,236	4,116	4,188
営業利益	11,067	11,235	10,962	11,002	11,591
経常利益	9,186	9,490	9,757	9,952	10,584
当期純利益	4,105	6,212	7,735	6,420	7,003
総資産	306,675	308,083	311,338	304,392	310,329
純資産	84,225	91,542	101,096	98,125	103,630

※ 1株当たり当期純利益は各年度の発行済普通株式数の加重平均値をベースに算出しています。

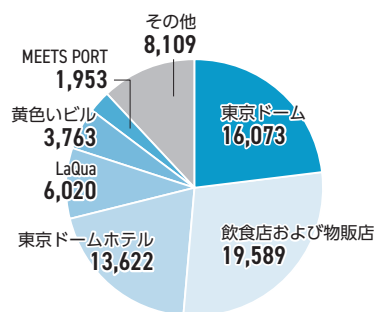
東京ドームシティ事業^{※1}

■ 売上高 (百万円) □ 営業利益 (百万円)

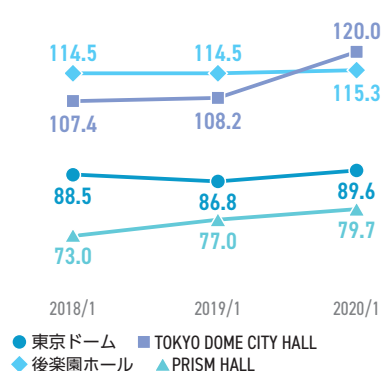


概況 東京ドームは、読売巨人軍のリーグ優勝によりクライマックスシリーズおよび日本シリーズが合わせて6試合、また日本代表チームのプレミア12が6試合開催され、大きな賑わいを見せました。またMLB開幕戦関連やプロ野球公式戦の売上が好調だったことなどにより、増収となりました。また東京ドームシティ アトラクションズは、シアターGロッソにおける「ミュージカル 忍たま乱太郎」の開催などにより、増収となりました。その他に、飲食店舗の好調、東京ドームホテルにおける客室単価の上昇、「ファーストキャビン 東京ドームシティ」や「Hi!EVERYVALLEY」の開業により、増収となりました。

売上高内訳 (百万円)



イベントホール稼働率 (%)



東京ドーム イベントジャンル別稼働日数 (日)

	2018/1	2019/1	2020/1
プロ野球	92	91	105
その他野球	28	29	29
コンサートイベント	144	138	130
その他イベント	59	59	63
合計	323	317	327

東京ドームホテル稼働状況 (%)

	2018/1	2019/1	2020/1
客室稼働率	86.0	88.3	86.6
宿泊者数 (千人)	501	528	515
宴会件数 (件)	2,188	2,120	2,096
婚礼件数 (件)	213	229	192

東京ドームシティ事業施設別参考データ^{※1}

施設名・事業名	売上高 ^{※2} (百万円)			来場者数 (千人)		
	2018年1月期	2019年1月期	2020年1月期	2018年1月期	2019年1月期	2020年1月期
東京ドーム (自主興行売上を含む)	14,555	14,838	16,073	8,883	9,321	9,773
飲食店および物販店 (コンサートなどのグッズ販売を含む)	16,998	19,169	19,589	—	—	—
LaQua	5,652	5,913	6,020	14,920	15,290	15,370
Spa LaQua	3,026 ^{※4}	3,291	3,380	659 ^{※4}	723	750
東京ドームシティ アトラクションズ ^{※3}	3,132	3,305	3,525	5,667	5,961	5,910
シアターGロッソ	—	—	—	305	298	303
ASOBono!	372	383	389	366	370	362
黄色いビル	4,291	3,771	3,763	—	—	—
Hi!EVERYVALLEY	—	—	—	—	—	—
TaKuSuRu	—	—	—	—	—	—
ウインズ後楽園 (テナント)	—	—	—	2,874	2,548	2,242
オフト後楽園 (テナント)	—	—	—	989	1,038	1,050
宇宙ミュージアム TeNQ	293	291	246	139	139	131
スボドリ!	259	253	254	204	197	198
東京ドーム ローラースケートアリーナ	107	112	115	94	95	96
東京ドームボウリングセンター	399	416	435	226	228	229
MEETS PORT	1,771	1,861	1,953	3,646	4,180	4,283
TOKYO DOME CITY HALL	744	752	775	550	604	623
後楽園ホール	578	578	598	408	423	423
PRISM HALL	573	672	739	410	520	625
東京ドームホテル	13,656	13,516	13,622	1,866	1,832	1,805
Gallery AaMo	250	577	143	191	179	123

※1 各施設の数値は東京ドームシティ事業の傾向を把握していただくものであり、主要施設のみ抽出し参考値として表示してあります。よって各施設の売上高の合計は東京ドームシティ事業の売上高とは一致しません。また、売上高は、社内取引を含んでいません。

※2 売上高は、社内取引を含んでいません。

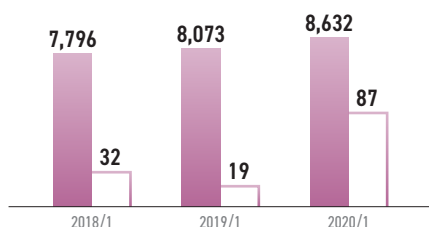
※3 東京ドームシティ アトラクションズの来場者数は、アトラクションの利用者数。

※4 2018年1月期は1ヶ月の大規模改装工事による休業期間あり。



流通事業

■売上高(百万円) □営業利益(百万円)



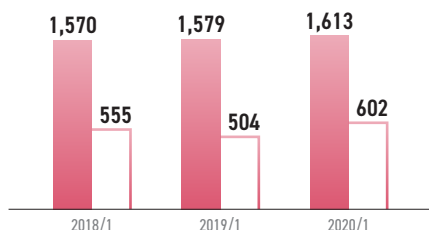
施設名・事業名	施設概要
shop in	1号店(新宿)1971年12月1日開業/43店舗(2020年1月末時点)

概況 既存店の好調に加え、ショッピング神戸ハーバーランドumie店やショッピングブランドデュオ蒲田店の開業により、増収となりました。



不動産事業

■売上高(百万円) □営業利益(百万円)



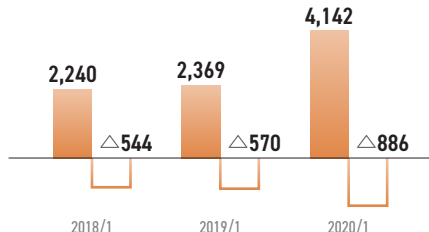
施設名・事業名	施設概要
松戸公産アドホック新宿ビル	商業テナントビル/地下2階～地上8階 テナント11店舗
プチモールニッポ	商業テナントビル/地上2階 テナント5店舗
柿の木坂BMWビル	商業テナントビル/地下1階～地上2階
代々木イーストビル	オフィステナントビル/地上8階
松戸公産市ヶ谷ビル	オフィステナントビル/地上5階
相模原ビル	商業テナントビル/地下1階～地上2階

概況 テナントの稼働が堅調に推移したこと、および管理費用の減少により、好調に推移しました。



熱海事業

■売上高(百万円) □営業利益(百万円)



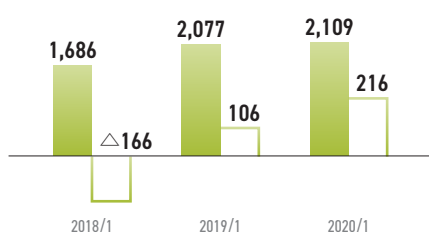
施設名・事業名	施設概要
ATAMI BAY RESORT KORAKUEN	2019年3月28日開業
熱海後楽園ホテル	1965年8月1日開業/地上18階 客室189室
オーシャンスパ Fuua	2019年3月28日開業/泉質 カルシウム・ナトリウム塩化物泉
IZU-ICHI	2019年3月28日開業

概況 熱海後楽園ホテルは、「ATAMI BAY RESORT KORAKUEN」としてリニューアルオープンしたことにより、増収となりましたが、開業に伴う諸経費の増加により、損失増となりました。



競輪事業

■売上高(百万円) ※1 □営業利益(百万円)



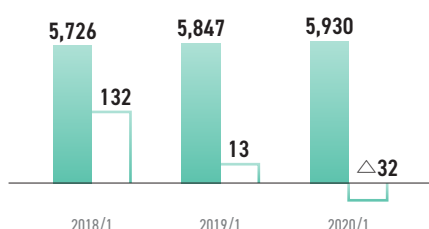
施設名・事業名	施設概要
松戸競輪場	敷地面積:48,791㎡/建築面積:37,703㎡/競走路周長:333.33m
サテライト大和【競輪場外車券売場】	敷地面積:39,288㎡/延床面積:5,770㎡/収容人数1,319人

概況 松戸競輪場は、開催日数の減少はあったものの、日本選手権(GI)を含む本場開催の好調により、増収となりました。



その他

■売上高(百万円) ※2 □営業利益(百万円)



施設名・事業名	施設概要
フィットネスクラブ 東京ドーム	トレーニングマシン100台以上、フィットネススタジオ2室、フィットネスプール(25m×6コース、20m×2コース)、ジャグジー
後楽園スポーツクラブ 調布	屋内温水プール(25m×15m 7コース)、マシンジム、フリーウェイト、スタジオ、ギャラリー室、スクール会員用ロッカー、体操室、バスルーム(サウナ)、ロッカールーム、シャワー室
後楽園スイミング スクールひばりが丘	屋内温水プール(25m×13m)、体操室、採暖室、ロッカールーム、ギャラリー室、シャワー室

概況 指定管理事業において、休館施設の再稼働や運営受託施設が増加したことなどにより、増収となりましたが、業務委託費などの諸経費の増加により、減益となりました。

※1 2016年11月から2017年4月松戸競輪場はバンクの改修工事を実施。

※2 東京ドームホテル 札幌が2017年4月末をもって営業を終了したことに伴い、「札幌」事業は「その他」に含めております。



代表取締役社長 執行役員

長岡 勤

人とのふれあいと 感動の共有に向けて 自らの変革を加速化します

長岡 勤 代表取締役社長が、新型コロナウイルス感染拡大に伴う対応、今後の取り組みについてお話しします。

2020年1月期概況

東京ドームシティ事業の好調と、 順調な熱海事業などにより増収増益

中期経営計画「新機軸」の4年目にあたる2020年1月期は、概ね堅調に推移いたしました。主な事業として当社グループのコア事業である東京ドームシティ事業においては、東京ドームを本拠地とする読売ジャイアンツが5年ぶりにリーグ優勝し、日本シリーズが開催されるなど、東京ドームでの野球関連イベントの開催日数増加と飲食店舗の好調、さらには緑やアートなどに囲われたフード&コミュニティ空間「Hi!EVERYVALLEY」、キャビンスタイルホテル「ファーストキャビン 東京ドームシティ」の開業が増収に貢献し、前年同期比増収増益となりました。

2019年3月に「ATAMI BAY RESORT KORAKUEN」がリニューアルオープンした熱海事業につきましては、同施設の開業当

初に清掃業務などの人材不足により一定程度に宿泊予約を抑えることとなりましたが、下期からは体制も整備され、順調に稼働いたしました。熱海事業としては同施設の開業による増収の一方で、開業費用の増加に伴い減益となりました（その他、部門別概況についてはP28～29ご参照）。これらの結果、2020年1月期連結業績は、売上高は915億5千7百万円（前年同期比5.2%増）、営業利益は117億2千8百万円（前年同期比2.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は80億2百万円（前年同期比14.9%増）となりました。

今後の重点テーマについて

東京ドームの高付加価値化など、 将来に向けた施策を継続

現在、当社グループは、2016年2月から2021年1月までを対象期間とする中期経営計画「新機軸」に掲げた経営目標の達成に

今後の重点テーマについて

☑ 「東京ドームの高付加価値化」

▶ デジタル化 ▶ 観戦環境の整備 ▶ 飲食物販店舗の新装等

☑ 「東京ドームを中心とする 東京ドームシティへの価値波及」

▶ 東京ドームシティブランディング ▶ 東京ドームシティ アトラクションズのイベント連携
▶ 東京ドームホテルの客室環境改善等

☑ 「ATAMI BAY RESORT KORAKUEN の 収益向上」

▶ 開業初年度の経験を活かした高付加価値の商品販売戦略・効果的な宣伝販促の実施等

☑ 「コーポレート・ガバナンスのさらなる強化」▶ 取締役の多様性（※石田恵美氏が社外取締役就任）等

向け、総力を挙げて同計画のアクションプラン（P37ご参照）に取り組む、営業基盤の構築において成果を挙げつつあります。その一方で、今後も引き続き、下記のテーマについて重点的に取り組んでいく必要があると認識しています。

☑ 東京ドームの高付加価値化

東京ドームにつきましては、スタジアムの環境整備として2019年7月から2020年3月にかけて、①高密度Wi-Fiの設置 ②車椅子席の増席 ③プライベートルームの新設を行いました。このうち高密度Wi-Fiの設置については、東京ドーム内のWi-Fiアクセスポイントを増やすなどハード面の通信環境を整備したものです。今後はイベント主催者など外部の皆様と連携しながら、例えば新しいアプリなど、ソ

フト面からの充実を図りたいと考えています。海外ではスタジアムでライブの試合やコンサート、イベントを楽しむだけでなく、見逃した試合映像の視聴、選手情報の取得、店舗やトイレの混雑状況の確認、ケータリングサービスなど、スマートフォンなどを活用したさまざまなサービスが展開されています。お客様に東京ドームをより快適かつ多角的に楽しんでいただくために可能性を追求してまいります。

また高付加価値化の一環として飲食物販店舗の新装などにつきましては、2020年1月期にはフード&コミュニティ空間「Hi! EVERYVALLEY」、「東京ドームグルメストリート」を開業して初年度から順調に実績を上げています。2021年1月期には東京ドーム4階コンコースの飲食売店をリニューアルし、試合を観戦できるモニターを備え付け、外の景色を楽しみながら最大80人が楽しめるイートインエリアです。

中期経営計画「新機軸」期間中における主な取り組み

アクションプラン	取り組み内容	期間
1	東京ドームの大規模リニューアル	2016年1月から3年間
7	東京ドームグループ教育センター（現 教育センター部）を設置	2016年2月
3	Audio guide Q提供開始 ※2020年3月提供終了	2016年7月
3	Stroll Tips配信開始	2016年9月
1	CuBAR LOUNGE開場	2017年3月
8	マーケティング本部を新設	2017年4月
6	インシデント情報管理システムを導入	2017年4月
1	Gallery AaMo開場	2017年4月
4	Crème et Rouge開店	2017年4月
1	Spa LaQuaのリニューアル	2017年10月
5	公式サイトの多言語化を実施	2018年1月
3	東京ドームオンライン野球塾サービス開始	2018年4月
3	全国ご当地グルメメッセを香川県で開催（以後、静岡、仙台でも開催）	2018年4月
1	オフト後楽園の移転とラウンジセブン開場	2018年6月～7月
1	Hi!EVERYVALLEY開業	2019年3月
1	東京ドームシティ アトラクションズに2機種「バックダーン」「ガンガンバトルーズ」オープン	2019年3月
2	ATAMI BAY RESORT KORAKUENオープン	2019年3月

※ アクションプランのナンバーの内容については、P37をご覧ください。

東京ドームスタジアム環境整備に関する取り組み

東京ドームは2019年7月から2020年3月にかけて、スタジアムビジネスにおける新たなニーズへの対応として、以下の3つのリニューアル工事を実施しています。

①高密度Wi-Fiの設置

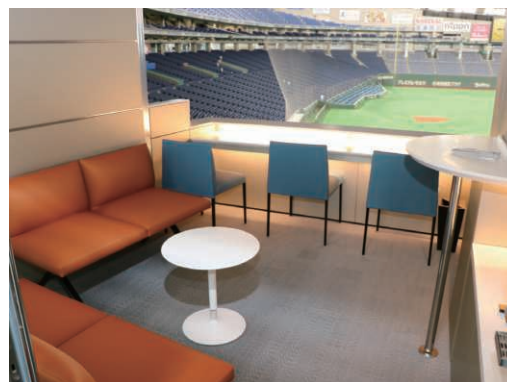
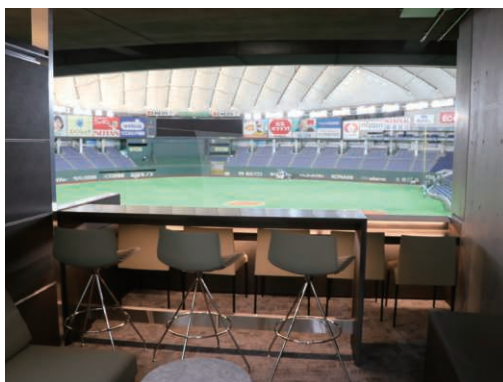
「スタジアム・ソリューションの導入」「ファンサービスの一層の拡充」を図り、今後、スタジアムを訪れた多くのお客様にさまざまな体験を提供し、ライブエンタテインメントの魅力を引き上げることで、スタジアムの価値を更に高め、集客力と収益力の向上を目指します。

②車椅子席の増席

従来12席だった車椅子席を22席に増設し、席幅も広げ、観戦および観覧環境の改善に努めています。

③プライベートルーム新設

壁で仕切られた半個室のプライベートルームを内野席最後部に新設し、グループでお見えのお客様にリラックスして野球観戦を楽しめる環境を整備しています。



✓ 東京ドームを中心とする東京ドームシティへの価値波及

当社グループは東京ドームという日本有数の大規模集客施設を保有し、高い認知度を誇ります。しかしながら、東京ドームシティという名称についてはお客様への認知が十分ではないと認識しています。東京ドームシティ アトラクションズをはじめとして各世代、性別、さまざまな嗜好のお客様に楽しんでもいただける各施設や東京ドームシティという“街全体の魅力”を知っていただくブランディングに取り組むことで、東京ドームシティ事業全体への波及効果が生まれると考えています。

一方、東京ドームシティ アトラクションズでは1年を通じてさまざまなイベントを開催しています。今後はさらに東京ドームシティ内の他施設や近隣地域とも連携することで、東京ドームシティアトラクションズのイベント発信力がエリア全体に広がることを目指しています。

東京ドームホテルは2000年に創業以来、シティホテルとして多くのお客様にご利用いただいています。一方でお客様のニーズは変化し続けており、IT環境の整備だけでなく、きめ細やかな客室環境の改善に取り組むことで、お客様の高い満足度の維持に努めてまいります。

✓ ATAMI BAY RESORT KORAKUEN の収益向上

2019年3月、当社グループが1965年から運営する熱海後楽園ホテルを、ホテル、スパ、レストラン、フードマーケットの複合型リゾートATAMI BAY RESORT KORAKUENとしてリニューアルオープンしました。その大きな目的は、熱海を訪れる旅行者のライフスタイルの変化に対応することでした。従来の旅館ビジネスでは企業などの団体旅行客がメインターゲットでしたが、現在はシニアや若い女性の少人数の旅行客、または個人が日帰りで温泉に訪れる

など旅行スタイルは多様化しています。ATAMI BAY RESORT KORAKUENでは新館「AQUA SQUARE」を設けて個人客や日帰り客を含む多様なニーズに対応するほか、熱海市と協働した「おでかけ熱海」キャンペーンを展開し、熱海という街の魅力を知っていただき訪れる事で、当社グループ施設への活用につなげていきたいと考えています。今後は開業初年度の経験を活かし、高付加価値の商品販売戦略、効果的な宣伝販促の実施などにつなげていきます。

☑ コーポレート・ガバナンスのさらなる強化

2020年3月24日の取締役会では弁護士の石田恵美氏を社外取締役候補者として選任し、取締役10名のうち4名が社外取締役となりました。今後は取締役会の活性化などに取り組み、株主の皆様や社会の要請に応えるべく、コーポレート・ガバナンスの強化に努めてまいります。

COVID-19感染拡大への対応

グループ全体で情報共有を徹底し、迅速に感染症対策を実施

世界的な新型コロナウイルス（COVID-19）感染拡大を受けて、当社グループにおいては2020年1月時点においてグループ横断的に感染症対策チームを立ち上げました。“感染しない、感染させない”をモットーに、チームは外部からの情報収集とグループ内での情報共有に取り組み、企業活動におけるさまざまな判断を安定的に行うための基準を作りました。週1度の経営陣への報告とともに、2月にはマスクなどの備品をグループの清掃専門会社を通して迅速に確保、従業員やお客様向けの感染症予防マニュアルと具体的なフローを策定し、グループ全体に周知を行いました（表

新型コロナウイルス感染拡大防止の対応

従業員への対応



- ▶ 毎日の検温実施と発熱がある場合の自宅待機、時差通勤の実施
- ▶ お客様と対応する従業員はマスクを着用
- ▶ 感染を疑われるお客様に対応する際のマニュアルとフローを感染拡大防止の観点から整え、従業員に周知

施設への対応



- ▶ 各施設に消毒液を設置
- ▶ 施設内の換気機能を強化するとともに、始業前の消毒
- ▶ 営業休止や、営業時間の短縮
- ▶ 既存の救護室に加え、感染を疑われるお客様専用の独立した救護室を用意

お客様へのお願い



- ▶ 手洗い・うがいの励行および設置されている消毒液のご利用をお願い
- ▶ 風邪の症状や37.5℃以上の発熱がある方、強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がある方のご来場を控えていただくようお願い
- ▶ 施設ご利用の際のマスクの着用をお願い
- ▶ ほかのお客様とソーシャルディスタンスの確保をお願い



「新型コロナウイルス感染拡大防止の対応」ご参照)。

その後、3月には社長を本部長とし、常勤取締役を構成員とする災害対策本部を設置し、東京都からの指針に基づき、各事業所の営業休止あるいは再開など重大な意思決定が速やかにできる体制を整備しました。2020年3月時点における施設の休止状況はHPや当社発信資料に記載のとおりですが、感染者のクラスターを決して出してはいけないとの思いから、東京ドームや東京ドームシティ アトラクションズなどのお客様が近接しやすい施設は利用休止にする一方、東京ドームホテルやスパ ラクアなどの比較的距離が保てる施設では時間を短縮して営業を継続しました。一方で、本来は施設でイベントを開催して集客する事が当社グループのビジネスモデルですが、早い段階から一切販促活動を自粛し、通常の営業の中でお見えたいたお客様への対応に留めました。大変難しい判断でしたが、当社グループの社会的責任を認識したことはもちろん、当社グループの経営理念/企業目的に掲げる“人とのふれあいを通しての感動の共有”を今後も実践し続けるためにも、感染者を出さない事が最重要課題であると考えました。

また、感染症拡大防止対策においては、過去における東京ドー

ムシティ アトラクションズで生じたコースター事故、東京ドームホテルでの食中毒など、当社グループにとっては苦い体験を決して忘れることなく、その都度、徹底した原因究明と対策を行い、施策をグループ全体で共有してきたことが、早期のマニュアル策定やグループ全体への周知徹底に結びつきました。

当社グループにおける最大のテーマは、お客様の安全・安心の確保です。以前から当社グループ内では、実践的な防災・防犯の教育・訓練活動、テロ対策を含む仕組みづくりに加えて、当社の安全推進室が中心となり、グループ内で発生した不具合やヒヤリハット事例、他社施設の事故・災害に関する情報をインシデント情報管理システムとしてデータベース化し、情報共有を行ってまいりました。近年は東京ドームシティ アトラクションズが取り組む「安全活動モデルAAA(トリプルエー)」をグループ全体に導入し、よりレベルの高い安全管理体制の構築を進めてまいります。

今後の取り組みについて

外部との連携を深め、 リアルとバーチャル双方の取り組みを加速化

2021年1月期は中期経営計画「新機軸」の最終年度であり、計画目標達成に向けてグループ一丸となって取り組もうとした矢先に、新型コロナウイルス感染拡大という問題が発生しました。当社に置きましては新型コロナウイルス感染拡大の影響による営業の休止やイベント中止に伴う売上の大幅な減少と、サーモグラフィ購入など対策費用の増加による業績悪化の見通しを受け、経営計画の収益性目標である連結営業利益130億円、資本運用の効率性目標「連結ROA4.0%、連結ROE 6.0%」への影響は避け難い状況と認識しています。当面の対策として、オペレーションにおける効率化や各種のコスト削減に努め、その一環として、2020年5～7月における取締役(社外を除く)、執行役員、常勤監査役の役員報酬を自主返納(40～10%)いたします。なお、2021年期の1株当たり配当金につきましては、安定配当12円を予定し、業績連動配当については未定とさせていただきます。

世界的な新型コロナウイルス感染拡大については、完全な終息までには長期の時間が必要なのと同時に、“アフターコロナ”の人々のライフスタイルなど社会全体に変革を及ぼすと予測されます。

前述のとおり、当社グループの経営理念では「人とひととのふれあい」を通して「お客様と感動を共有」し、豊かな社会の実現に貢献することを企業目的と位置づけています。今回の感染拡大後においても、人々が“ふれあい”と“感動の共有”を求めていること、当社の社会的役割に変わりはありません。しかし、今後、経営理念を実践するためには、当社グループ自身の変革が不可欠であると認識しています。

冒頭に重要テーマ「東京ドームの高付加価値化」でお話しましたとおり、ライブの試合やイベントだけでなく、スタジアムのデジタル化やIT化によって、さまざまな多角的なサービスを提供できる可能性があります。中長期的には、ワクチンの開発などにより、人々は直接的なふれあいやライブイベントを安心して楽しむ時間

を取り戻します。その間に、当社グループが変わらず“ライブなふれあいと感動”を皆様にご提供すると同時に、“バーチャルなふれあいと感動”を提供できるビジネスモデルを構築することが当社グループの将来成長に結びつくと考えています。

近年、当社グループにおいてはIT事業の多角化と人材確保のために、子会社化や資本業務提携を進めてまいりました。2020年1月期には、人材派遣もしくは業務受託によるIT開発・販売を中心に事業を展開する株式会社ソフトレック（現：株式会社東京ドームITソリューションズ）を完全子会社化（非連結会社）するとともに、HRテックサービスを展開するパーソナルエージェントホールディングス株式会社、IoT 端末の「AI Beacon（エーアイビーコン）」を活用する株式会社アドインテ、多言語翻訳ツール「Kotozna Chat

中期経営計画「新機軸」（2017年1月期～2021年1月期）

4つの経営方針

〔基本方針〕 レジャー事業の拡大を見据えて経営資源の最適配分を進め、持続的に企業価値を創出する100年企業を目指す。

〔投資方針〕 安定的な収益基盤の底上げに向けて、平均的な年間の投資規模を「起動」から拡大する。さらに、ピークアウト事業およびノンコア事業も含め、多元的に評価した事業性に基づき、資産の入れ替えを推進する。

〔財務方針〕 よりキャッシュ・フローを重視する経営を行い、投資は利益の範囲内で積み上げる。

〔株主還元方針〕 経営環境の変化に関係なく株主への還元を安定化させるために、「安定配当」と「収益連動配当」の二段階の株主還元方式を導入する。

「新機軸」では、**4つの経営方針**のもと、**4つの経営目標**の達成を目指す ▶

▶ 4つの経営目標

収益性の向上

2021年1月期の
連結営業利益
130億円

財務体質の改善

2021年1月期の
連結有利子負債残高
1,390億円

資本運用の効率性

2021年1月期の
連結 ROA（総資産経常利益率）4%、
連結 ROE（自己資本利益率）6%

安定配当と収益に連動した配当

1株当たり12円
+業績連動α

経営目標の達成に対し、**8つの経営課題**を設定 ▶

(コトツナチャット)」を提供するKotozna(コトツナ)株式会社との資本業務提携を行っています。これらの企業との連携により、当社グループが新たな“バーチャルなふれあいと感動共有”できるビジネスモデルの構築に向けて基本となるデータ収集・解析、IT系人材など、当社グループ機能を補完するとともに、当社グループにおいてノウハウの蓄積とIT系人材の育成につなげてまいります。

引き続き、日々のグループ全体で実践的な感染拡大防止策を徹底し、お客様に安全・安心な場を提供するとともに、変化する状況を見極めながら当社グループにおける課題を整理し、中長期的観点での経営計画を策定し、ひとつずつ施策を実行してまいります。株主、投資家、ステークホルダーの皆様にはご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

2021年1月期連結業績予想および配当予想について

2021年1月期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響を現段階において合理的に算定することが困難なことから未定としています。業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

2021年1月期配当予想につきましては、安定配当12円のみを見込んでおり、業績連動配当は未定としております。なお、業績予想の開示が可能となった段階で、業績連動配当を含めた配当総額を速やかに公表いたします。

▶ 8つの経営課題

1 東京ドームシティ事業の利益水準の維持と拡大

2 新たな成長戦略の研究開発と、
東京ドームシティ事業以外の既存事業の成長

3 人手不足への対応

4 「安全文化」の浸透・保持

5 コーポレートガバナンス・コードと
スチュワードシップ・コードへの対応

6 「東京オリンピック・パラリンピック」
「訪日外国人のお客様」への対応

7 人口動態の変化に伴う消費行動の変容への対応

8 グループ経営体制の強化

8つのアクションプラン

1 東京ドームシティに、将来にわたり持続的に価値を
もたらすための環境整備に取り組みます。

2 熱海後樂園ホテルのリニューアルに取り組みます。

3 東京ドームシティ内外において、新規事業の追求
および新規顧客の獲得を目指します。

4 東京ドームシティ外の既存事業の
事業性の維持と向上を目指します。

5 グローバル化・ユニバーサル化を視野に入れた
環境整備に取り組みます。

6 いつも安全・安心な環境を
保ち続けることに取り組みます。

7 人的資源の獲得・育成に取り組みます。

8 グループ経営体制の再構築に取り組みます。



常に、お客様に安心して楽しんでいただくために、 さまざまな安全対策を講じています。

当社においては「安全こそが当社グループの存立基盤である」ことを強く認識し、「安全理念・安全基本方針」のもと、日々「いつも安全・安心な環境を保ち続ける取り組み」～施設・設備への更新投資の継続、安全管理体制の推進と拡充、テロ対策強化や、防災・防犯の教育、訓練活動の拡充～を強化しています。

具体的には、お客様および従業員に対する総合的な安全管理体制構築の推進を所轄する部署として、安全推進室を設置し、当社代表取締役社長が経営において安全面を重視して判断する責任を負う統括安全管理者に就任しています。同室は、年次総合安全計画の策定、総合安全活動に関する企画立案・推進、安全監査、リスクアセスメン

ト、年次総合安全報告書の策定などを担当し、安全確保の施策全般をスパイラルアップさせていくためのPDCAサイクルの仕組みをつくり、機能・維持しています。また2017年4月より「インシデント情報管理システム」を導入、当社グループ内で発生した不具合やヒヤリハット事例などのほか、社外施設の事故・災害に関する情報をデータベース化しています。関連情報を全役職員で共有することにより、継続的な安全啓発を図り、当社グループの安全に関する活動のさらなる推進につなげています。さらに2019年からは、「安全活動モデルAAA（トリプルエー）」についてグループ全体に周知活動を展開しています。

安全理念

東京ドームグループは、お客様と「感動」を共有するために、安全を第一に考え、行動します

安全基本方針

安全で楽しい施設とサービスの提供を追求し続けます
安全について私たち自身で基準を設定し遵守します
安全のための教育訓練に積極的に取り組みます

グループ全体での効果的な安全マネジメントシステムの構築を目指して

東京ドームグループ安全活動モデルAAA (All Anzen Action)

当社グループは、従来から東京ドームシティ アトラクションズが取り組む「安全活動モデルAAA」をグループ横断的に実行するための周知活動を展開しています。「AAA」は、東京ドームグループすべての(all)、安全管理における(anzen)、行動(action)を網羅的かつ分かりやすく体系化したもので、今後「AAA」を基準とすることで、現状の安全活動における弱い面・漏れなどにいち早く気づき、強化いたします。当社グループは安全理念および安全基本方針の徹底を図るためさまざまな取り組みを行ってまいりましたが、「AAA」導入により、グループ全体でよりレベルの高い安全管理体制の構築を進めてまいります。

AAA (All Anzen Action)



「AAA」では、安全に必要な6つの要素を定義しています。

「安全の日」と 「安全週間」



「安全週間」統括安全管理者による安全巡視

安全に対する強い意識を新たにする日として、1月30日を「安全の日」と制定しています。また、1月30日から2月5日までの1週間を「安全週間」とし、各事業所や各施設における安全の総合点検、統括安全管理者による安全巡視を行っています。

安全啓発室



安全啓発室

2017年1月30日、「東京ドームグループ安全啓発室」を設置しました。2011年1月30日のお客様死亡事故時の舞姫搬器の一部や、事故概要などのパネルを恒常的に展示し、安全文化の醸成と安全意識の向上のために、全従業員の安全教育の場として活用しています。

テロ対策で 警視庁より表彰



長岡社長(左)へ警視総監感謝状を授与

東京ドームシティは警視庁と連携し、さまざまな自主警備活動・テロ対策を行っています。2019年12月24日、一連の特別警戒警備において、皇室関連行事における警備協力に対し「警視総監賞」、ローマ教皇来日における警備協力に対し「警視庁警備部長賞」が贈られました。

東京ドームシティアトラクションズで 年間1,000回以上の講習などを実施



東京ドームシティ アトラクションズによる安全に関する取り組み

東京ドームシティ アトラクションズでは、安全管理を強化するための講習会を実施しています。2020年1月期には舞姫事故講習会、運行管理者勉強会、運転者講習会、緊急時対応訓練など、年間で1,000回以上の各種講習会などを実施しました。

東京ドームホテルが 東京消防庁より表彰



小石川消防署予防課長から消防総監表彰状を授与

2018年3月7日、東京消防庁より、「東京消防庁 消防総監賞」を受賞しました。東京ドームホテルの「自衛消防隊の取り組みが業務内容適切功労でほかの模範である」という点が評価されました。

防災訓練



災害対策本部

大規模災害により同時多発的に火災や負傷者などの被害が発生したという想定で各自衛消防隊の部分訓練の強化と連携訓練を実施します。災害対策本部や災害対策班は、実際に近いシナリオなき訓練を行うことで状況に応じた対応力を養います。

お客様に安心して楽しんでいただける場を持続的に提供 ホスピタリティを行動にする人材育成と各種施策に取

現在そして将来に向けて東京ドームグループの発展と成長の礎は継続的な人材育成にほかなりません。特にこれからの当社グループが必要とするのは“地力がある人材”です。一例として東京ドームシティの現場ではインバウンドのお客様など日常的に海外のお客様と接する時代となり、すでに構内MAPや公式サイトなどにおける多言語化などハード面でグローバル化・ユニバーサル化に対応しています。しかし、最後はすべての現場の最前線にいる社員の対応、ソフト面にかかっています。組織のひとつの駒として動くのではなく、自分自身で考え、周囲を巻き込みリードしていける人材を育てていき

いと考えています。

東京ドームグループ教育センターによるグループ全体の従業員に向けた教育・研修のほか、定期的に「東京ドームシティ 接客ロールプレイングコンテスト」を開催し、東京ドームシティで働くスタッフが接客技術を磨いています。また、外部機関との資本業務提携を通じて、サービスのIT化にも積極的に取り組むほか、バリアフリー化や夏季熱中対策など、多様性のあるすべてのお客様が、安心して楽しんでいただける場を持続的に提供するための各種施策に取り組んでいます。

お客様に安全に楽しんでいただくために、グループ全体の教育を司る

東京ドームグループ 教育センター部

東京ドームグループは、顧客満足度を高めていくために第一線で働く従業員への教育にも力を入れています。

教育センター部では各種研修の実施や教育情報の共有、隙間時間に学べる動画講座の配信をしています。

例えば、現場からの要望の多い「トレーナー研修」では、現場の業務トレーニングで活かせる『教える・伝える・理解して行動にうつしてもらう』コツを学びます。業務をこなすのではなく、お客様を意識して行動することの大切さを体感することでよりよい接客につながっていきます。

ほかにも接客研修や知識講座では、東京ドームグループの大切にしている思いを核にしながら、働く上で必要な知識やスキルを学べるようになっています。従業員一人ひとりが働くことに喜びや楽しみを持つこと、それがお客様へのよりよいサービスにつながり顧客満足度を高めていってくれると考え取り組んでいます。



供するために り組んでいます。

「東京ドームシティ 接客ロールプレイングコンテスト」の開催

「東京ドームシティ 接客ロールプレイングコンテスト」は、“お客様と感動を共有するためには、まずはスタッフが楽しく働き、スタッフ自身が東京ドームシティを好きになり、よりよいサービスを提供すること”を趣旨として開催しているイベントです。“もう一度この人に接客してほしい”と思われるような、お客様へ満足・感動を与えられる接客を目指して、日頃の接客サービスを披露し、毎年6～7月の決勝大会に臨みます。

このような取り組みを通して、さらなるお客様へのサービス向上を目指していきます。

接客ロールプレイングコンテスト2019出場者から

「コンテストを通して『お客様目線』の大切さに立ち返る事ができました。」

接客サービスは、ベテランになるとどうしても“運営目線”になりがちです。キャリアを重ねたスタッフにとっても、接客ロールプレイングコンテストに参加することで、“お客様目線の大切さ”を再認識する、初心に返れる場所ですね。

参加未経験の人には、“現場”で培った接客を披露して、自分の接客サービスを振り返る良いチャンスと参加を勧めています。

その他 参加者の声

「よりお客様の立場になって
接客を深く考えられるようになりました！
[アミューズメント部スタッフ]

「コンテストで認められ、
自分の接客に自信が持てました！
[ワゴン雑貨スタッフ]



お客様の心に響く声の土台作り

アナウンス研修

東京ドームシティで働く私たちは、声を使ってさまざまなことをお客様へ伝えていますが、「声」の使い方によってお客様やスタッフへの伝わり方も変わっていきます。2019年12月、当社グループは、より伝わるアナウンスやお声かけの実践に向けて第一線で活躍する現役アナウンサーを講師に迎えてアナウンス研修を実施しました。研修では全体での発声練習、実際にナレーション原稿を読む個別指導が行われました。今回の研修は「アルバイト指導が難しい」「お客様から聞き返されることが多い」など現場の声から実施につながりました。プロフェッショナルな視点でのアドバイスは受講者からも好評で、今後も継続的に研修を行っていきます。



アナウンス研修風景



アドインテとの資本業務提携

デジタルマーケティング事業を展開している株式会社アドインテと資本業務提携を実施しました。同社が開発したIoT端末「AI Beacon (エーアイビーコン)」を活用し、スマートフォンを軸とした行動データの解析から統計モデルや機械学習モデルを適用。大きな集客力を持つ当事業と連携し、新たなマーケティングを展開することを目指します。

IoT端末「AI Beacon」



Kotozna (コトツナ) 株式会社との資本業務提携

2019年12月、当社はKotozna株式会社と資本業務提携を実施しました。今後は、同社が開発した多言語翻訳ツールの「Kotozna Chat (コトツナチャット)」を活用し、エンタテインメント体験における言葉の壁を超えた感動の共有をはじめ、協業による新規事業を創出することを目指します。

多言語翻訳チャット「Kotozna Chat」

落とし物申請システム

レジャー施設の課題である、落とし物返却の迅速化と返却率向上を図るため、お客様がweb上でいつでも申請でき、各施設にその情報が即時共有されるシステムを導入しました。今後も、システムの改善や管理方法の工夫を通して、さらなる対応向上に努めていきます。

バリアフリーへの取り組み

一人でも多くのお客様が安全・安心に施設をご利用いただけるよう、設備面でもユーザビリティ向上のため、改良・改善を図っています。今後も、さらなる利便性の向上を目指して、一步一步進んでいきます。

お客様窓口の設置

東京ドームシティでは、ご利用に応じた各種の情報提供やサポートを行う相談窓口を設けています。増加する訪日外国人のお客様への対応強化として東京観光案内窓口を設置しています。

社員一人ひとりが個性や能力を十分に発揮できるよう 各種制度と職場環境の整備に努めています。

東京ドームの事業を支えているのは人材です。社員一人ひとりの成長が企業の力になり、より良いサービスをお客様に提供できると考えています。社員が各人の個性や能力を十分に活かしながら活躍できるよう、人材育成のためのさまざまな取り組みを推進するとともに、安心して働ける職場環境の整備に努めています。また「コンプライアンス行動規範」において、法令遵守はもとより人権を尊重し、差別やハラスメントを行わない旨を定め遵守しています。

ダイバーシティ

定年退職後の雇用を支援する「セカンドキャリア制度」や、ハンディキャップを考慮して個人のスキルを発揮しながらいきいきと働くことができる障がい者雇用の推進など、性別・年齢・障がいの有無に関係なく、誰もが活躍できる制度の整備に取り組んでいます。

株式会社東京ドームの人事・雇用に関するデータ

	2018年1月期	2019年1月期	2020年1月期
正社員数	504名	524名	542名
男女別正社員数	男性313名 女性191名	男性323名 女性201名	男性333名 女性209名
平均年齢	全体44.4歳(男性43.5歳 女性45.9歳)	全体44.2歳(男性43.2歳 女性45.7歳)	全体43.7歳(男性42.8歳 女性45.3歳)
平均勤続年数	22.0年	21.4年	20.4年

また社員が多様な働き方を実現できるようさまざまな制度を設けています。以下は主な制度です。

産前・産後休暇	育児休業	介護休業
産前休暇は3ヶ月前・2ヶ月前・6週間前の3パターンから選ぶことができます。産後休暇は8週間です。	産前・産後休暇後、子どもが1歳(条件付きで2歳)になるまで取得することができます。	社員は、介護休業を取得することができます。
ワークサポートコース	年次有給休暇(時間単位付与あり)	おでかけサポート(視察支援制度)
両立支援制度のワークサポートコースを選択すると、最大730日の「介護時短勤務」や子どもが中学1年生の4月まで「育児短時間勤務」で働くことができます。	通常の年次有給休暇(年間10~25日)をより柔軟に活用するため、1年につき4日分を2時間単位で取得することができます。	余暇を利用して興味のあるレジャー施設などに出かけた際、その費用の一部を会社が支援する制度です。

人材育成

社員の成長を応援するために、さまざまな研修プログラムを用意しています。また当社事業に関連する分野の海外施設や興行などの視察を行い、今後の業務、自己成長、能力向上に役立てることを目的とする海外視察派遣制度を設けています。(50万円までの視察費用は会社負担)

グループ全体での統合管理に向けた組織整備を行い、地球環境保全に向けた持続的な取り組みを行っています。

事業活動で発生する環境負荷の低減に向けて、さまざまな環境保全活動に取り組んでいます。環境に配慮したシステムの導入や専門組織の設置など、地球温暖化防止をはじめとする持続的な環境保全を積極的に推進しています。

温暖化対策小委員会／環境対策小委員会の設置

リスク管理を体系的に定める「リスク管理規定」に基づき、経営に重大な影響を与えるリスクをトータルに認識して対応するため、当社代表取締役社長を委員長とする「リスク管理委員会」を設置しています。

「リスク管理委員会」のもとに、地球温暖化対策を推進する「温暖化対策小委員会」、ゴミ処理対策などを統制する「環境対策小委員会」を設置し、それぞれの担当分野におけるリスクマネジメントを実施しています。

温暖化対策小委員会

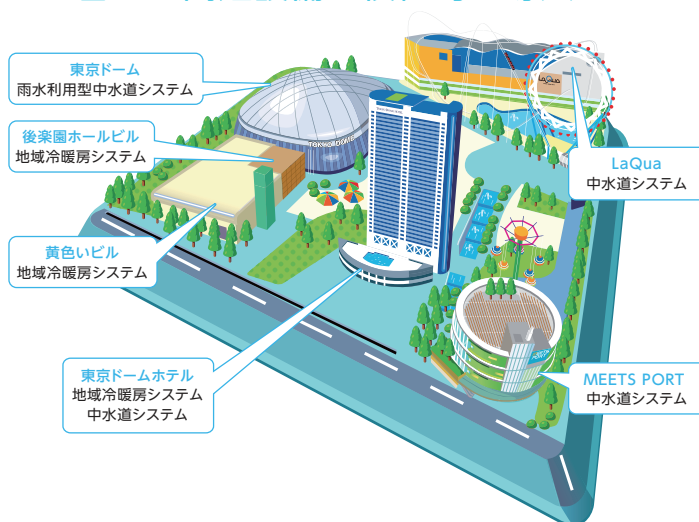
1995年に「省エネ推進委員会」として発足し、2018年より現在の小委員会となりました。当グループの事業が社会から受容され評価されるよう、地球温暖化対策などの環境に配慮して事業を展開するために必要な事項に取り組んでいます。

環境対策小委員会

当グループの事業活動に伴い発生するゴミの総量削減、プラスチックゴミ処理などの対策に取り組んでいます。また受動喫煙対策などについても、法令を遵守し、周辺環境に配慮して活動するために必要な事項を検討しています。

東京ドームアリーナ内の全照明LED化をはじめ、省エネ関連設備を積極的に導入

東京ドームシティでは、各施設にて省エネルギーの推進と環境負荷の低減をいち早く実現しています。2016年からの東京ドーム大規模リニューアルにおいては、アリーナ内の全照明をLEDに更新しました。また、その他の省エネ対策として、「東京ドームの雨水再利用システム」「地域冷暖房システム」「微細な電力制御による省エネ効率の高いインバータ設備」「『エネルギーの見える化』システム」をはじめとした設備を積極的に導入しています。さらに、100名を超える省エネ担当者を選任し、各エリアで照明や空調設備の運転時間、設定温度の管理を強化するなど、地球温暖化防止対策推進の組織体制も強化しています。今後も継続して省エネ活動に取り組めます。



東京ドーム内飲食店舗 環境に配慮したゴミ削減に向けての取り組み

東京ドームでは、2019年4月2日に開催される巨人公式戦以降のすべてのイベントで、ゴミ削減を目的に、ソフトドリンク（一部商品除く）の「プラスチックストロー」提供を廃止しています。またストロー使用を希望されるお客様には「生分解ストロー」(*)を提供しています。

これらの取り組みにより東京ドーム内で排出されるプラスチックゴミを年間で約6.8トン削減できました。また、ビールなどのプラスチックカップは、専用回収ゴミ箱を増設して、リサイクル率をさらに高めています。その他の包材でも、環境に配慮した素材に随時変更するなど、環境負荷低減への取り組みを推進しています。

※ 生分解ストロー：微生物や菌の力で分解発酵が可能な樹脂で、焼却時も通常のPET樹脂よりCO₂の発生を低減できる効果があります。

地域の皆様との共存共栄による持続的な企業価値の向上を目指し、地域に密着した幅広い取り組みを行っています。

持続的に企業価値を向上させていくためには、地域の皆様とともに歩みを進めていくことが不可欠です。そこで、イベントの企画、防災、定期的な地域の美化活動、文化事業の支援、自社施設へのご招待など、地域住民の皆様にも密着した幅広い取り組みを実施しています。

創業より80年以上営業している文京区はもとより、熱海や松戸など、当社グループが事業を営む地域の皆様との関係を大切にしながら事業を営んでいきます。

来場者と地域住民の安全確保

東京ドームシティは「東京都震災対策条例」に基づき、東京都から、大地震に伴う大規模な市街地火災などに際し、住民が避難するための「緊急避難場所」に指定されています。災害時には一時的に避難してきた人や行き場のない帰宅困難者の安全の維持が全従業員の最優先課題となっています。

災害時には、災害対策本部が設置され、東京ドームシティ内にある8つの自衛消防隊を指揮し、災害に対応します。このため東京ドームシティでは、年間2,000回以上の防災・安全訓練を行うとともに、総合防災訓練では、従業員のほかに地元消防や警察、地域住民も参加して防災への意識を高めています。

▶ 文京区（東京都）と、災害時の相互協力に関する協定を締結

2013年3月19日、文京区と当社は、災害時における相互協力に関する協定を締結しました。この協定は、災害時の帰宅困難者対策として、当社が一時滞在施設の提供などを行うものです。災害時には、文京区への要請により東京ドームシティの一部施設において、当日のイベントなどを考慮のうえ、帰宅困難者を可能な限り受け入れます。

成澤廣修文京区長（左）と
久代信次社長（当時）



地域の美化活動（クリーンレンジャー）

東京ドームシティで働くスタッフが毎月1回、およそ30分間をかけて東京ドームシティ周辺を清掃しています。清掃に参加するスタッフは「クリーンレンジャー」と呼ばれ、黄色のベストを着用しています。また夏場には、併せて打ち水を実施するなど、地域環境の向上を目指す取り組みも行っています。

▶ クリーンレンジャーのコメント

街のいたる所にさまざまなゴミが落ちていることに改めて気づかされました。また、この活動を通じ、一緒に参加しているグループ会社の社員とのコミュニケーションが取れるようになったことも大きな収穫となっています。



企業訪問の受け入れ

「東京ドーム」を中心に、遊園地事業やホテル事業など、日本国内でさまざまなジャンルのレジャー事業を展開し続けている当社は、社会を構成する一員として、学校教育の支援を目的として、全国の児童・生徒の皆様の企業訪問活動に積極的に対応しています。毎年、中学生を中心に500名前後の児童・生徒の方々に訪問いただき、レジャー産業ならびに当社事業への関心と理解を深めていただいています。

取締役および監査役



執行役員

手島 康彦

常務執行役員
営業本部営業環境管理部・東京ドーム部担当
兼東京ドーム部長

岩瀬 敬之

常務執行役員
マーケティング本部営業企画部・開発室担当
兼開発室長

棟方 史幸

常務執行役員
営業本部ホール部・ミーツポート部・ラクーア部担当
兼ラクーア部長

岡 佳和

常務執行役員
営業本部業務部・プロパティ管理部担当
兼業務部長

中川 真

執行役員
営業本部飲食&物販部・流通事業部担当
兼飲食&物販部長

岡田 洋美

執行役員
経営本部新規事業開発室・広報IR室・秘書室担当
兼秘書室長

岩村 直道

執行役員
営業本部興行企画部・ミュージアム部担当
兼興行企画部長

上村 純子

執行役員
経営本部人事部・教育センター部担当
兼教育センター部長

大野 敏和

執行役員
営業本部アミューズメント部・スポーツレジャー部担当
兼アミューズメント部長

① 長岡 勤

代表取締役社長 執行役員

② 谷口 好幸

代表取締役専務 執行役員
コンプライアンス・リスク管理担当
兼安全推進室・審査法務部担当

③ 西勝 昭

専務取締役 執行役員
マーケティング本部長
兼宣伝広告部・営業推進部担当

④ 萩原 実

専務取締役 執行役員
営業本部長

⑤ 小田切 吉隆

常務取締役 執行役員
管理本部長
兼総務部・財務部・施設部担当

⑥ 久岡 公一郎

常務取締役 執行役員
経営本部長
兼グループ戦略室・公共施設事業室・
IT戦略部担当

⑦ 秋山 智史

社外取締役 (独立役員)

⑧ 森 信博

社外取締役 (独立役員)

⑨ 井上 義久

社外取締役 (独立役員)

⑩ 石田 恵美

社外取締役 (独立役員)

⑪ 田中 雅昭

常勤監査役

⑫ 田中 毅

常勤監査役

⑬ 高橋 功

社外監査役 (独立役員)

⑭ 青木 英憲

社外監査役 (独立役員)

PICK UP コーポレート・ガバナンス

当社は、コーポレート・ガバナンスの充実により、グループ全体の経営の透明性、健全性、効率性を高めることが、持続的な企業価値の向上に不可欠であり、重要な経営課題ととらえています。特に、株主をはじめ、顧客、取引先、地域社会、従業員等のステークホルダーと良好な関係を構築するために適時・適切に情報を開示し、企業活動の透明性を確保することが重要だと考えています。当社は、監査役制度を採用し、取締役会による業務執行の監督と監査役会による監査を中心とした経営監視の体制を構築しています。また、取締役と監査役の報酬は、株主総会の決議により、取締役全員および監査役全員のそれぞれの報酬総額の最高限度額を決定しており、この点で株主の監視が働く仕組みです。なお、取締役の経営責任を明確化し、経営環境の変化に対応できる経営体制を機動的に構築するために、取締役の任期を1年にしています。

コーポレート・ガバナンス体制の概要

取締役会 取締役10名（うち、社外取締役4名）で構成され、当社の経営方針および業務執行を決定し、取締役および執行役員の職務の執行を監督する権限を有しています。

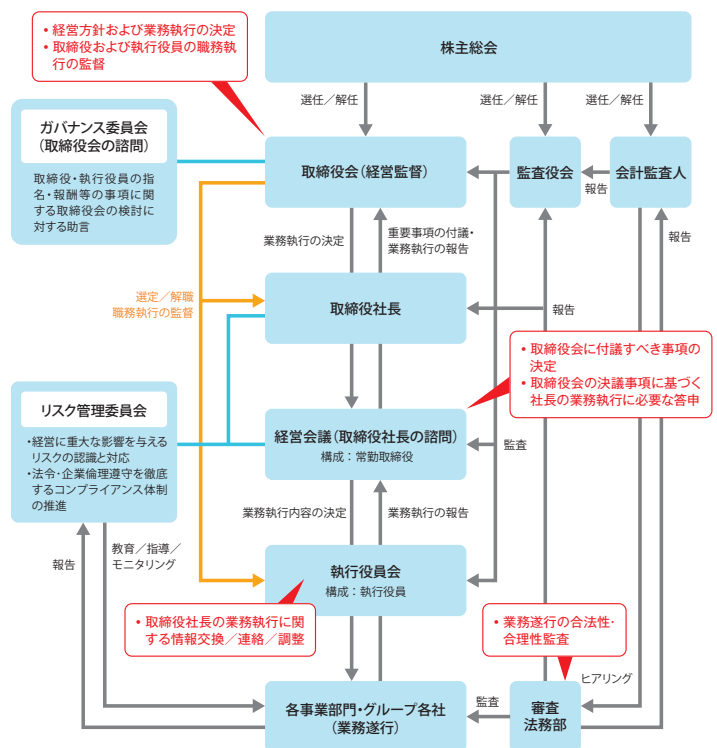
監査役会 監査役4名（うち、社外監査役2名）で構成され、監査に関する重要な事項について報告を受け、協議を行い、または決議をしています。各監査役は、監査役会が定めた監査の方針、業務の分担などに従い、取締役会およびその他の重要な会議に出席するほか、取締役等に営業の報告を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、主要な事業所には自ら赴き業務および財産の状況を調査しています。

経営会議 取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制の基礎として、常勤取締役全員によって構成される経営会議を設置し、取締役会に付議すべき事項の決定ならびに取締役会の決議事項に基づく取締役社長の業務執行に必要な答申を行っています。

執行役員会 戦略的・機動的な意思決定と業務執行を目指して執行役員制度を導入しています。執行役員は、取締役会で選任され、取締役会の決定に基づき社長が委嘱する担当職務の執行責任者としての責任と権限を有し、業務を執行しています。また、執行役員全員によって構成される執行役員会を設置し、取締役会および経営会議の決議事項を伝達し、社長の業務執行に関する情報交換・連絡・調整の円滑化を図っています。なお、現場・現実に根ざした意思決定と監督を行うため、監督と執行の完全な分離は志向せず、常勤取締役が執行役員として業務執行を担当するとともに取締役会に参画する体制をとっています。

ガバナンス委員会 取締役会の諮問機関として独立社外取締役を多数構成とするガバナンス委員会を設置し、取締役および執行役員の指名ならびに報酬等特に重要な事項に関して取締役会が検討するに当たり、本委員会が適切な答申を行うことで取締役会の機能の独立性・客観性と説明責任を強化しています。

東京ドームグループのコーポレート・ガバナンス体制



取締役・監査役候補の指名および経営幹部の選解任の方針と手続き

取締役会の構成に関する考え方

- ・取締役会は、取締役12名以内とし、そのうち2名以上を社外から選任することで、外部からの視点での監督機能を強化し透明性の高い経営を実現する。
- ・精通する事業分野や経験等についてのバランスおよび多様性を確保する。

取締役・監査役の指名および選解任について

(1) 取締役選定基準

- ①人格に優れ、当社グループの経営に有益な高い見識・豊富な経験を有する。
- ②時代の動向や市場の変化を的確に捉え、専門とする事業・分野からの客観的な意見を、全社的な見地に立ち発言できる。
- ③当社の経営理念および当社グループの安全理念に基づき、当社の持続的成長と企業価値向上への貢献が期待できる。
- ④社外取締役については、企業経営・法律・財務会計・行政・リスク管理等の分野に関する知見および豊富な経験を有し、うち2名以上は当社の定める「独立性判断基準」に抵触しない。
- ⑤会社法第331条第1項に定める取締役の欠格事由に該当しない。

(2) 監査役選定基準

- ①人格に優れ、監査役の職務を遂行するうえで必要な高い見識・豊富な経験を有する。
- ②中立な立場から客観的に取締役の職務執行を監査し、経営の健全性および透明性の向上に貢献できる。
- ③常勤監査役のうち1名は、財務・会計に関して十分な知見を有する。
- ④社外監査役は、監査役会の半数以上とし、企業経営・法律・財務会計・行政・リスク管理等の分野に関する知見および豊富な経験を有し、会社法第2条第16号に定める社外監査役の要件を満たす。
- ⑤会社法第335条で準用する同法第331条第1項に定める監査役の欠格事由に該当しない。

(3) 取締役・監査役の指名手続き

- ①選定基準および取締役会の構成に関する考え方を踏まえ、代表取締役が指名案を作成する。

- ②社外取締役が過半数のガバナンス委員会にて指名案を審議し、助言もしくは提言する。
- ③ガバナンス委員会の助言・提言を十分に斟酌したうえで取締役会に指名案を上程し承認する。なお、監査役については監査役会にて審議し、同意を得たうえで取締役会の承認を得るものとする。
- ④株主総会に付議する。

(4) 取締役・監査役の解任

- ①取締役・監査役に関し、以下の状況が認められた場合、取締役会は当該役員の解任に向けた手続きを開始する。
 - 1.法令・定款に違反する重大な事実が判明した
 - 2.選定基準から著しく逸脱した事実が認められた
 - 3.職務を懈怠することにより、著しく企業価値を毀損した
 - 4.その他職務の適切な遂行が困難と認められる事由が生じた
- ②取締役・監査役の解任については、ガバナンス委員会による公正かつ厳格な審議を経たうえで、取締役会における決議を経て、株主総会で決定される。なお、監査役については監査役会にて審議し、同意を得たうえで取締役会に諮るものとする。

経営幹部の選解任について

(1) 執行役員選任基準

- ①社長執行役員が委嘱する担当職務の執行責任者として、責任と権限を有するに相応しい人格・能力・実績・見識を備える。
- ②当社中期経営計画達成に向けた基本方針および経営課題に対し、深い理解と公正で誠実な職務執行を期待できる。

(2) 執行役員選解任手続き

- ①経営会議にて選解任案を作成する。
- ②ガバナンス委員会にて選解任案を審議し、助言もしくは提言する。
- ③ガバナンス委員会の助言・提言を十分に斟酌したうえで、取締役会の決定により選解任する。

当社の定める「独立性判断基準」

当社グループは、社外役員について、下記の項目によりその独立性を判断します。また、東京証券取引所が定める「独立役員」として指定する場合は、いずれの項目にも該当しないことを要件といたします。

a 当社グループを主要な取引先とする者またはその業務執行者（会社法施行規則第2条第3項第6号に規定する者をいう）

- 「当社グループを主要な取引先とする者」とは、直近の3事業年度における当社グループとの取引額が当該会社の当該事業年度における（連結）売上高の2%以上を占める者をいう。

b 当社グループの主要な取引先またはその業務執行者

- 「当社グループの主要な取引先」とは、直近の3事業年度における当社との取引額が当社グループの当該事業年度における連結売上高の2%以上を占める者をいう。

c 当社グループの主要な借入先またはその業務執行者

- 「主要な借入先」とは、当社グループの借入先のうち、直近の事業年度末における借入残高（社債等有利子負債を含む）が上位3位以内の会社（親会社がある場合には、当該親会社も含む）をいう。

d 当社グループの主要な株主またはその業務執行者

- 「主要な株主」とは、直近の事業年度末での議決権を、当社グループ各々の

会社において、直接または間接に関わらず10%以上を保有する者をいう。

e 当社グループから役員報酬以外に多額の金銭その他の財産を得ているコンサルタント、会計専門家、法律専門家または税務専門家（個人である場合には、その者が代表またはそれに準ずる職を務める団体を含む）

- 「多額の金銭」とは、直近の3事業年度を対象として、個人である場合には年間1,000万円以上、団体である場合には当該団体の当該事業年度の（連結）売上高の2%以上の金額をいう。

f 当社グループを担当している会計監査人である監査法人の社員もしくはパートナー、またはその他の会計専門家

g 当社グループが多額の寄付を行っている先の業務執行者

- 「多額の寄付」とは、直近の3事業年度を対象として年間1,000万円以上の金額の寄付をいう。

h 社外役員の相互就任の関係にある先の業務執行者

i 当社グループの取締役、監査役、執行役員または使用人（過去にそうであった者を含む）

j 上記aからhに掲げる項目は、現時点で該当しなくとも過去3年間に遡って確認するものとする。

k 上記aからiに掲げる項目は、その三親等以内の近親者についても確認するものとする。

役員報酬決定の方針と手続き

基本方針

- 各役員の役割や責任に応じた報酬体系とし、透明性と公正性を確保します。
- 業務を執行する役員の報酬は、業績向上への意欲を高め、中長期的な企業価値向上に資する報酬体系とし、ステークホルダーと利益を共有するものとします。
- 報酬体系・水準については、社外役員を過半数とするガバナンス委員会に諮問することで、客観性・合理性を確保します。
- 報酬体系・水準は、経済情勢や当社業績、他社水準等を踏まえて見直しを行います。

報酬体系

- 常勤取締役および執行役員の報酬は、役位別の固定報酬と、短期の業績に連動した役員賞与および中長期インセンティブとしての株式報酬から構成されます。
- 社外取締役の報酬は、業務執行から独立した立場で経営の監督・助言を行うという観点から、固定報酬とします。
- 監査役の報酬は、独立性に配慮し、職責および常勤・非常勤に応じた固定報酬とします。
- 固定報酬は、職責に応じて役位毎に決定します。業績連動型役員

賞与は、配当金総額の5%を原資として、連結業績評価指標で上下する支給率を乗じて算出された支給可能総額を上限に、支給額を決定します。株式報酬は株式交付信託を用いて役位に基づき算定された当社株式を退任時に支給します。

報酬決定の手続き

- 取締役の報酬は、株主総会で承認された総額の範囲内で、社外役員を過半数とするガバナンス委員会への諮問・答申を経て取締役会にて決定します。
- 監査役の報酬は、株主総会で承認された総額の範囲内で、監査役の協議に基づき決定します。

報酬等の総額（2020年1月期）

区分	支給人員	支給額
取締役 （うち社外取締役）	12名 （3名）	287百万円 （18百万円）
監査役 （うち社外監査役）	6名 （4名）	62百万円 （12百万円）

※1 2008年4月25日開催の第98回定時株主総会において、取締役の報酬額を、使用人兼務取締役の使用人分の給与は含まないものとして年額400百万円以内（うち社外取締役分は年額30百万円以内）、監査役の報酬額を年額80百万円以内として承認をいただいています。

※2 取締役（社外取締役を除く）の期末人員は、7名であります。支給人員との相違は、2名退任によるものであります。社外監査役の期末人員は、2名であります。支給人員との相違は、2名退任によるものであります。

会社概要／株式情報

会社概要

商号	株式会社東京ドーム TOKYO DOME CORPORATION
本社	〒112-8575 東京都文京区後楽1丁目3番61号
電話	03-3811-2111 (代表)
設立	1936年12月25日
資本金	2,038百万円
従業員数	888名

株式情報

発行可能株式総数	198,000,000株
発行済株式総数	95,857,420株
株主数	22,827名
上場取引所	東京証券取引所 市場第一部 証券コード：9681
定時株主総会	毎年4月、東京にて開催
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社 〒100-8233 東京都千代田区丸の内1丁目4番1号

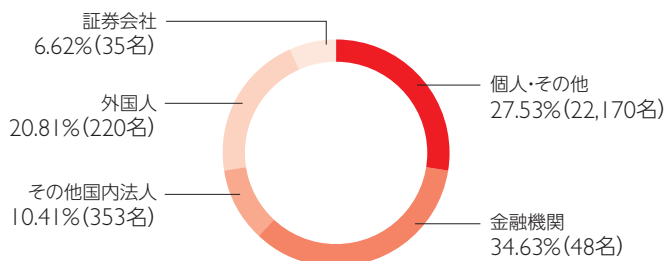
大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%) [※]
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	5,167	5.57
株式会社みずほ銀行	4,282	4.61
富国生命保険相互会社	4,276	4.61
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,433	3.70
株式会社竹中工務店	3,343	3.60
OASIS INVESTMENTS II MASTER FUND LTD.	2,900	3.12
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	2,675	2.88
NOMURA PB NOMINEES LIMITED OMNIBUS-MARGIN (CASHPB)	2,011	2.16
ドイチェ バンク アーゲー ロンドン ジーピーエフ クライアント オムニ - フル タックス 613	2,001	2.15
SMBC日興証券株式会社	1,629	1.75

※ 持株比率は、自己株式(3,149,469株)を控除して計算し、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

所有者別株式分布状況

※パーセンテージは持株比率(自己株式を除く)



ホームページのご案内



株式会社東京ドーム コーポレートサイト

東京ドームグループの事業のご紹介やニュースリリース、IR情報、CSR情報などを掲載しています。

日本語版 <https://www.tokyo-dome.jp/>

英語版 <https://www.tokyo-dome.jp/english/>

東京ドームシティ公式サイト

東京ドームシティの営業のご案内を掲載しています。

日本語版 <https://www.tokyo-dome.co.jp/>

英語版 <https://www.tokyo-dome.co.jp/en/tourists/>



連結子会社（11社）

会社名	事業セグメント
株式会社東京ドームホテル	東京ドームシティ事業
株式会社東京ドームファシリティーズ	東京ドームシティ事業・その他
株式会社東京ドームスポーツ	東京ドームシティ事業・その他
後楽園事業株式会社	東京ドームシティ事業
松戸公産株式会社	競輪事業・不動産事業
後楽園不動産株式会社	不動産事業
株式会社後楽園フードサービス	不動産事業
株式会社東京ドーム・リゾートオペレーションズ	熱海事業
進商事株式会社	その他
株式会社札幌後楽園ホテル	その他
オリンピック興業株式会社	その他

持分法適用関連会社

会社名	事業セグメント
東京ケーブルネットワーク株式会社	その他

非連結会社

会社名
株式会社東京ドームマーチャンダイジング
株式会社アタミ・ロープウェイ
株式会社東京ドームITソリューションズ
株式会社東京ドームウィズ ※2020年6月1日設立

お問い合わせ先

株式会社東京ドーム
〒112-8575 東京都文京区後楽1丁目3番61号
経営本部 広報IR室
TEL: 03-3817-6029 FAX: 03-3817-6022

主要なグループ会社のご紹介

株式会社東京ドームホテル

住所	〒112-8562 東京都文京区後楽1丁目3番61号
電話	03-5805-2111（代表）
設立	1999年2月1日
主な事業内容	ホテルの経営



株式会社東京ドームファシリティーズ

住所	〒112-0004 東京都文京区後楽1丁目3番61号
電話	03-3817-6164
設立	1985年2月1日
主な事業内容	清掃管理請負業、ビル管理全般、不動産取引仲介業務



株式会社東京ドームスポーツ

住所	〒112-0003 東京都文京区春日1-1-1 ラクーアビル7F
電話	03-3817-4001
設立	1981年3月31日
主な事業内容	スポーツクラブ・温泉施設などの運営・管理およびその受託



松戸公産株式会社

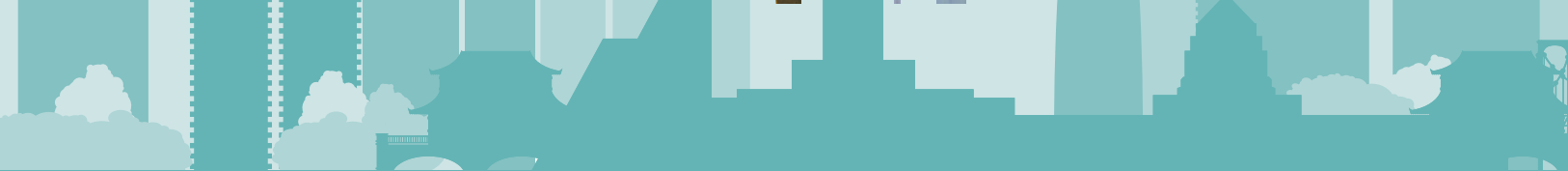
住所	〒271-0091 千葉県松戸市本町8番地の3
電話	047-366-2121（代表）
設立	1949年5月16日
主な事業内容	競輪場の賃貸と運営受託、不動産の売買・仲介・賃貸および管理



株式会社東京ドーム・リゾートオペレーションズ

住所	〒413-8626 静岡県熱海市和田浜南町10-1
電話	0557-82-0121（代表）
設立	2000年3月17日
主な事業内容	ホテル経営と温泉施設の運営





株式会社 東京ドーム

〒112-8575 東京都文京区後楽1丁目3番61号
TEL: 03-3811-2111 (代表)
URL: <https://www.tokyo-dome.jp/>

